

米に関するマンスリーレポート

(平成28年9月号)



【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

農林水産省

平成28年度品目別輸出促進緊急対策事業のうち コメ・コメ加工品輸出特別支援事業の公募について

本事業の事業実施主体の公募については、以下のとおりです。なお、本公募は平成28年度政府補正予算案に基づくものであるため、成立後の予算の内容により事業内容及び予算額等に変更があり得ることをあらかじめ御了承の上、御応募下さい。

事業の目的

本年5月19日に決定した、農林水産業の輸出力強化戦略においては、米については、コメ・コメ加工品の更なる輸出拡大を図るため、商品や輸出ルートが多様化、生産コストの削減などにより、輸出ターゲット市場を拡大・深掘りしていくこととしております。

そのために、海外マーケットに対し、輸出事業者がより踏み込んだビジネス展開やプロモーションを行う取組等を支援します。

支援内容

支援の内容は以下のとおりです。

1 輸出に取り組む事業者が行う取組の支援

コメ・コメ関連食品の輸出に取り組む事業者が行う新たなビジネスモデルの構築に向けた取組の実証を支援します。

2 日本産コメ・コメ関連食品のプロモーション活動の強化支援

輸出先国のニーズに明るい現地コンサルタントや海外メディアの活用等により、現地ニーズに即した効果的な調査・プロモーション、科学的データを持った品質や安全性のPR、訪日外国人向けのPR、「米輸出統一ロゴマーク」の普及のためのコンテンツの充実やウェブサイトの構築などの取組を支援します。

3 海外規制への対応支援

輸出先国における国内規制への対応を図るため、現地コンサルタント等と連携し、データの収集や規制当局との協議等の取組を支援します。

事業実施主体

【支援内容の1及び3】

コメ・コメ関連食品の輸出促進に全国規模で取り組む団体及びこれまでに一定のコメ・コメ関連食品の輸出（間接的に輸出に関与する取組を含む。以下同じ。）の実績を有し、今後も輸出の拡大に取り組む事業者

【支援内容の2】

コメ・コメ関連食品の輸出促進に全国規模で取り組む団体

提出期限

平成28年9月23日（金曜日）17時00分

提出先窓口・問い合わせ先

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省政策統括官付農産企画課企画班
TEL：03-6738-8964（直通）

詳細は、以下URLを参照ください。

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisaku_tokatu/160826_2.html

目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成28年8月分）	1
II	平成28年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄状況	3
III	米の需給・契約・販売	
1	主食用米等の需給見通し（米の基本指針（平成28年7月29日）	
(1)	全国の需要実績（速報値）	6
(2)	平成27/28年の需要動向	6
(3)	平成28/29年の需要見通し（推計値）	7
(4)	平成28/29年の需給見通し	7
(5)	民間流通における6月末在庫量の推移	8
(6)	平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入札の結果	10
2	契約・販売情報	
(1)	産地別契約・販売状況（速報）	11
(2)	産地別事前契約数量	15
IV	米の在庫情報	
(1)	全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成28年7月末）（速報）	17
(2)	産地別民間在庫の状況（前年同月比）	19
(3)	平成27・28年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成27年7月末から平成28年6月末）（速報）	20
V	米の価格情報	
1	相対取引価格・数量	
(1)	相対取引価格（年産別）	28
(2)	価格帯別分析結果（平成28年7月）	29
(3)	相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年7月分）	30
2	米の先物取引価格の推移	33
VI	主食用米以外（輸出を含む）	
1	27年産米の作付状況	
(1)	27年産米の用途別作付面積及び生産量	35
(2)	主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）	35
(3)	新規需要米の用途別認定状況	35
2	加工用米及び新規需要米の取組状況概要 平成26米穀年度（平成25年11月～26年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）	36
3	飼料用米の需要量	37
4	コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について	39 40
VII	支援事業等	
(1)	水田活用の直接支払交付金	41
(2)	米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）	45
(3)	主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	47
VIII	消費動向	
(1)	米の消費動向（米穀機構による調査）	49
(2)	購入数量の推移（家計調査）	50
(3)	消費者物価指数の推移	51
(4)	小売物価統計の推移	52
(5)	小売価格の推移（POSデータ）	53
IX	MA米（一般・SBS）の動向	
(1)	MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	54
(2)	加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成27年度）	55
(3)	SBS輸入米の見積合わせ結果（平成27年度）	55
X	その他	
(1)	水稻うるち玄米の農産物検査結果	56
(2)	平成27年産水稻の作付面積及び収穫量	57

I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成28年8月分)

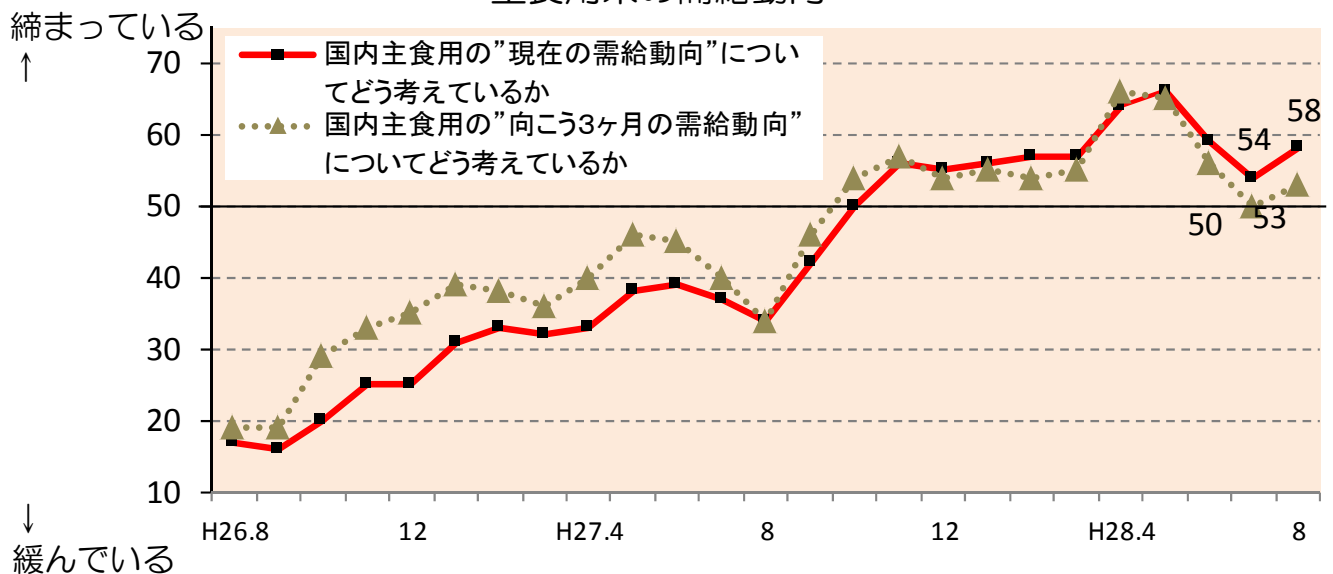
- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成28年8月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断は+4ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は+3ポイント。いずれも判断基準の50を超えており「締まっている、締まる」との見方は継続。

国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I	前月からの増減 + 4 (今月の数値 58)
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)	前月からの増減 + 3 (今月の数値 53)

主食用米の需給動向



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など
 詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。
 【<http://www.komenet.jp/>】
 また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

《アンケート方法等》

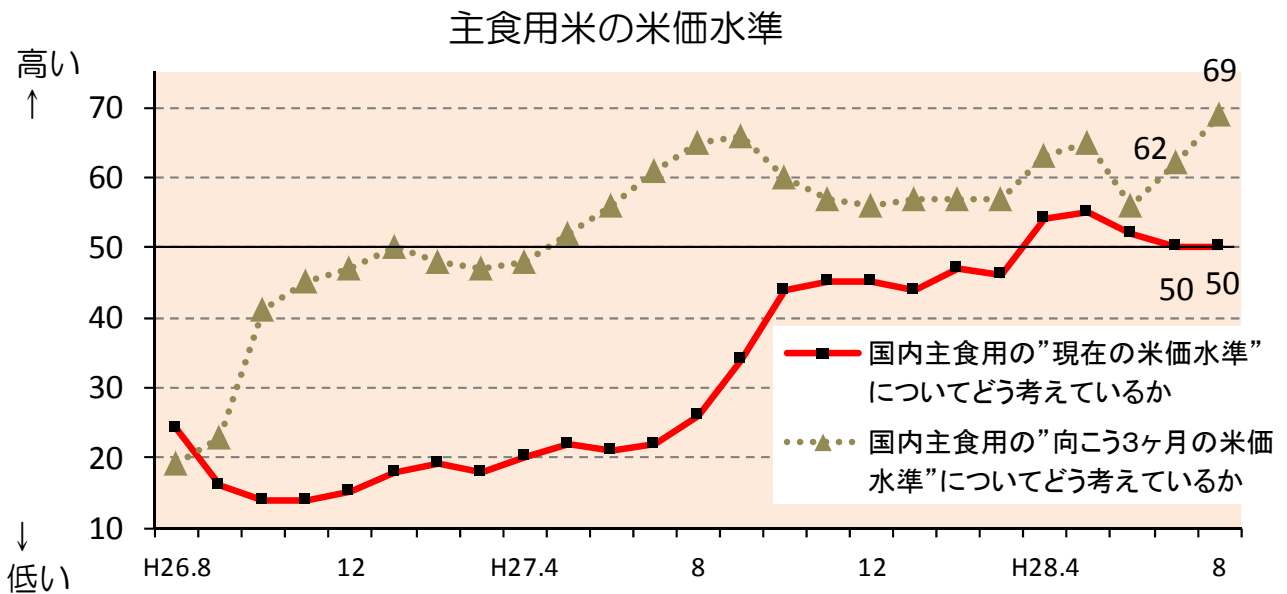
- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体
- 有効回答数: 137客体
 - 生産者…………… 11
 - 集出荷業者/団体…………… 28
 - 卸売業者(主に主食用米) …… 26
 - 小売業者/中食・外食業者 …… 55
 - その他…………… 17

※「その他」は以下の業者です。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 米価水準は、前月に比べ現状判断は±0ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は+7ポイント。見通し判断は、判断基準の50を超えており「米価水準が高くなる」との見方は継続。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI	前月からの増減	±0	(今月の数値 50)
(イ) 見通し判断DI (向こう3ヶ月)	前月からの増減	+7	(今月の数値 69)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

《利用上の注意》

○ 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

(DIの算出例)

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

Ⅱ 平成28年産水稻の8月15日現在における作柄概況

－ 8月15日現在の早場地帯の作柄は「平年並み」又は「やや良」、
遅場地帯の生育は「平年並み」の見込み －

【調査結果の概要】

■ 東日本を中心とした早場地帯（19道県）の作柄は、「平年並み」又は「やや良」と見込まれる。

これは、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから、全もみ数が一部地域を除き平年以上に確保されると見込まれ、登熟もおおむね順調に推移しているの見込まれるためである。

■ 西日本を中心とした遅場地帯（沖縄県（第二期稲）を除く27都府県）の生育は、6月が日照不足傾向であったものの、その後はおおむね天候に恵まれていることから、総じて「平年並み」で推移している。

1 平成28年産水稻の都道府県別田植及び出穂の状況（8月15日現在）

都道府県	田植期					出穂期					出穂済み積割合	
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		当年値	対平年差
				対平年	対前年				対平年	対前年		
	月 日	月 日	月 日	日	日	月 日	月 日	月 日	日	日	%	ポイント
北海道	5. 19	5. 24	5. 31	3日早	並み	7. 27	8. 2	8. 8	2日遅	並み	100	0
青森	5. 15	5. 21	5. 28	1日早	1日遅	8. 1	8. 5	8. 10	1日早	2日遅	100	0
岩手	5. 11	5. 17	5. 24	1日早	2日遅	8. 2	8. 6	8. 12	並み	4日遅	100	0
宮城	5. 3	5. 11	5. 21	2日早	1日遅	7. 29	8. 2	8. 11	2日早	4日遅	99	0
秋田	5. 15	5. 21	5. 29	2日早	並み	8. 1	8. 4	8. 10	並み	2日遅	100	0
山形	5. 13	5. 18	5. 24	2日早	並み	8. 1	8. 6	8. 13	並み	3日遅	99	1
福島	5. 9	5. 16	5. 26	2日早	並み	8. 1	8. 9	...	1日早	2日遅	94	2
茨城	4. 28	5. 6	5. 25	1日早	並み	7. 18	7. 30	8. 12	2日早	3日遅	97	1
栃木	5. 1	5. 6	6. 14	1日早	並み	7. 24	7. 31	...	3日早	2日遅	90	2
群馬	5. 21	6. 13	6. 26	2日早	1日遅	8. 6	44	6
埼玉	4. 28	5. 21	6. 27	2日早	1日早	7. 23	8. 10	...	2日早	並み	64	2
千葉県	4. 18	4. 27	5. 8	1日早	並み	7. 12	7. 23	8. 2	2日早	3日遅	100	0
東京都	5. 30	6. 13	6. 28	並み	並み	8. 11	8. 15	...	並み	1日遅	53	△ 1
神奈川県	5. 20	6. 1	6. 12	並み	並み	8. 3	8. 13	...	1日遅	3日遅	75	△ 2
新潟	5. 4	5. 9	5. 20	3日早	1日早	7. 24	8. 4	8. 12	3日早	1日早	99	1
富山	5. 2	5. 12	5. 17	並み	2日遅	7. 16	7. 31	8. 9	3日早	2日早	100	1
石川	4. 29	5. 4	5. 23	1日早	並み	7. 16	7. 27	8. 2	4日早	2日早	100	1
福井	4. 30	5. 16	5. 26	並み	1日遅	7. 14	8. 1	8. 12	1日早	並み	98	0
山梨	5. 11	5. 27	6. 18	3日早	1日早	7. 31	8. 7	...	4日早	1日早	80	7
長野	5. 12	5. 22	6. 2	並み	並み	7. 29	8. 6	8. 14	2日早	1日早	97	3
岐阜	5. 2	5. 27	6. 10	並み	並み	7. 20	49	0
静岡県	4. 26	5. 18	6. 11	3日早	1日早	7. 17	8. 6	...	4日早	1日早	71	6
愛知県	4. 30	5. 23	6. 10	1日早	並み	7. 23	44	1
三重	4. 17	4. 30	5. 18	2日早	1日早	7. 14	7. 21	8. 8	4日早	2日早	98	1
滋賀	4. 30	5. 9	5. 26	1日早	並み	7. 24	7. 30	8. 14	4日早	3日早	95	4
京都	5. 5	5. 23	6. 5	並み	1日遅	7. 25	8. 2	...	3日早	2日早	84	4
大阪	5. 17	6. 8	6. 20	並み	1日遅	8. 1	28	1
兵庫県	5. 12	6. 3	6. 14	1日早	1日早	7. 28	8. 12	...	1日早	1日早	64	2
奈良	5. 7	6. 8	6. 14	並み	並み	7. 29	30	0
和歌山	5. 2	6. 3	6. 17	1日早	並み	7. 18	8. 6	...	2日早	1日早	83	△ 1
鳥取	5. 6	5. 25	6. 6	1日早	並み	7. 26	8. 5	...	2日早	2日早	89	3
島根	5. 1	5. 13	6. 1	2日早	並み	7. 17	7. 28	...	6日早	6日早	94	7
岡山	5. 12	6. 8	6. 23	並み	1日遅	7. 30	41	0
広島	5. 4	5. 18	6. 5	1日早	並み	7. 23	8. 8	...	1日早	1日早	71	1
山口	5. 12	6. 2	6. 22	2日遅	2日遅	7. 30	8. 8	...	2日早	4日早	64	0
徳島	4. 6	4. 16	5. 3	2日早	1日早	7. 5	7. 13	7. 25	4日早	1日早	100	0
香川	5. 2	5. 22	6. 13	並み	1日早	7. 21	7. 30	...	2日早	2日早	87	4
愛媛	4. 25	6. 14	6. 28	並み	並み	7. 18	43	3
高知	4. 23	6. 2	6. 21	並み	1日遅	7. 16	8. 11	...	3日早	4日早	58	4
福岡	4. 3	4. 11	4. 21	1日早	並み	6. 24	6. 30	7. 11	6日早	1日早	100	0
佐賀	5. 16	5. 25	6. 12	2日早	並み	8. 10	30	5
長門	5. 17	6. 16	6. 27	1日早	1日早	8. 2	35	4
熊本	5. 4	6. 19	6. 28	1日早	並み	7. 20	26	8
大分	4. 20	6. 13	6. 30	2日早	1日早	7. 16	14	△ 1
宮崎	4. 22	6. 17	7. 3	3日遅	3日遅	7. 17	24	1
鹿児島	5. 16	6. 13	6. 28	1日早	並み	7. 30	19	1
沖縄	3. 19	3. 26	4. 6	2日早	1日早	6. 15	6. 21	6. 30	6日早	2日早	100	0
	5. 29	6. 14	6. 26	2日早	1日早	3	0
	3. 20	4. 4	4. 15	1日早	並み	6. 12	6. 22	7. 14	7日早	5日早	100	0
	6. 11	6. 20	6. 29	1日早	1日早	0	0
	2. 20	3. 5	3. 25	1日早	4日遅	5. 9	5. 23	6. 1	2日早	4日遅	100	0

注: 1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
2 出穂期の「始期」、「最盛期」及び「終期」の欄の「...」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。
3 出穂済み面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 平成28年産水稻早場地帯の作柄概況(8月15日現在)

区 分	平年比較				
	作柄の良否	穂数の多少	一穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
北海道	やや良	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
青森	やや良	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
岩手	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
宮城	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
秋田	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
山形	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み
福島	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
茨城	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
栃木	平年並み	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
千葉	やや良	やや少ない	多い	やや多い	平年並み
新潟	やや良	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
富山	やや良	多い	やや少ない	やや多い	平年並み
石川	やや良	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福井	やや良	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み
長野	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
三重	やや良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
滋賀	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
鳥取	平年並み	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
島根	平年並み	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良

注：本表における平年比較の表示区分は、「良・多い」が対平年比106%以上、「やや良・やや多い」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良・やや少ない」が98～95%、「不良・少ない」が94%以下に相当する。

3 平成28年産水稻遅場地帯の生育状況(8月15日現在)

区 分	平年比較		
	生育の良否	草丈の長短	茎数の多少
群馬	平年並み	平年並み	平年並み
埼玉	平年並み	やや長い	平年並み
東京	平年並み	やや長い	やや少ない
神奈川	平年並み	平年並み	平年並み
山梨	平年並み	やや短い	平年並み
岐阜	平年並み	平年並み	平年並み
静岡	平年並み	平年並み	平年並み
愛知	平年並み	平年並み	平年並み
京都	平年並み	平年並み	やや少ない
大阪	平年並み	やや短い	平年並み
兵庫	平年並み	平年並み	平年並み
奈良	平年並み	平年並み	平年並み
和歌山	平年並み	平年並み	平年並み
岡山	平年並み	平年並み	平年並み
広島	平年並み	平年並み	やや少ない
山口	平年並み	平年並み	平年並み
徳島 (普通栽培)	平年並み	やや長い	やや少ない
香川	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛	平年並み	平年並み	平年並み
高知 (普通栽培)	平年並み	やや短い	平年並み
福岡	平年並み	平年並み	平年並み
佐賀	平年並み	やや短い	平年並み
長崎	平年並み	平年並み	平年並み
熊本	平年並み	やや短い	平年並み
大分	平年並み	平年並み	平年並み
宮崎 (普通栽培)	平年並み	平年並み	平年並み
鹿児島 (普通栽培)	平年並み	やや短い	平年並み

注：生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

4 平成28年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(8月15日現在)

(1) 10a当たり予想収量

区 分	10 a 当たり 予想収量 ①	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			(参考)	
		10 a 当たり 予想収量 ②	10 a 当たり 平年収量 ③	作 況 指 数 ④=②/③	作 付 面 積 (子実用、見込み) ⑤	予想収穫量 ⑥=①×⑤
	kg	kg	kg		ha	t
徳 島	480	478	459	104	4,470	21,500
高 知	481	478	476	100	6,580	31,600
宮 崎	461	455	470	97	6,730	31,000
鹿 児 島	428	416	434	96	4,610	19,700
沖 縄	351	348	365	95	560	1,970

- 注:1 10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 (参考)農家等が使用しているふるい目幅で選別の 10a当たり予想収量、10a当たり平年収量及び 作況指数については、各全国農業地域に所在する農家等が使用しているふるい目幅について、その目幅が大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅(四国及び沖縄は1.75mm、九州は1.80mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 3 沖縄県は第一期稲である(2)の統計表において同じ。)
 4 (参考)の作付面積(子実用、見込み)は、関係機関等からの情報収集により把握した現時点での見込みの面積(参考値)であり、今後変動する可能性がある。

(2) 作柄概況及び刈取済面積割合

区 分	平年比較				刈取済面積割合	
	穂数の多少	一穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	当年値	対平年差
					%	ポイント
徳 島	平年並み	やや多い	やや多い	やや良	19	9
高 知	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	86	26
宮 崎	少ない	平年並み	少ない	やや良	99	△ 1
鹿 児 島	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良	91	5
沖 縄	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	100	0

- 注:1 本表における平年比較の表示区分は、「多い・良」が対平年比106%以上、「やや多い・やや良」が105~102%、「平年並み」が101~99%、「やや少ない・やや不良」が98~95%、「少ない・不良」が94%以下に相当する。
 2 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

○ 平成28年産水稻の8月15日現在における作柄概況は、「農林水産統計」からの抜粋。
 詳しくは、下記にて御覧いただけます。
 政府統計の総合窓口(e-Stat)の「新着情報」
 【<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>】

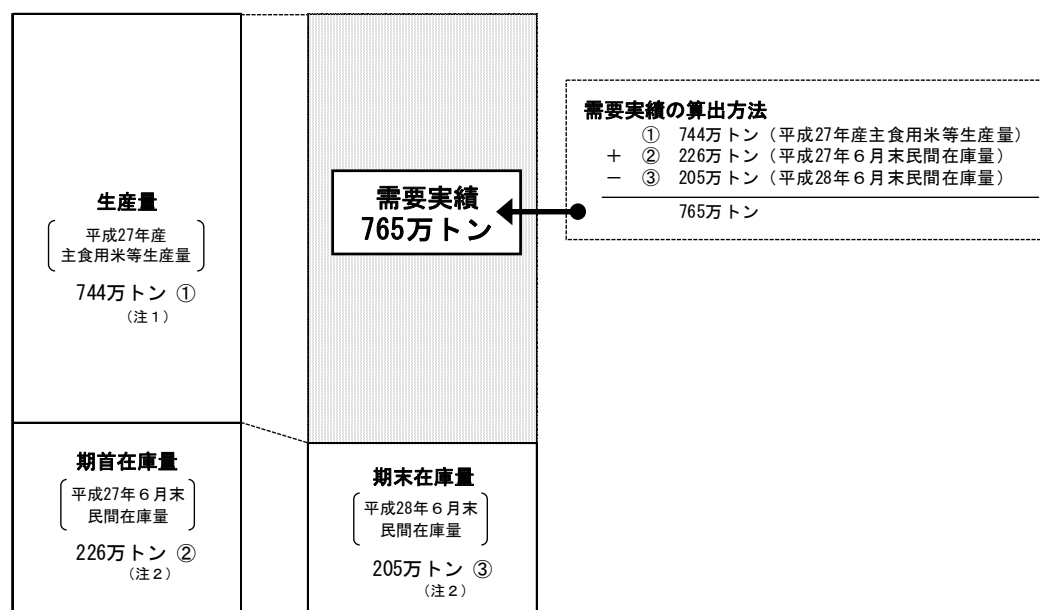
Ⅲ 米の需給・契約・販売

1 主食用米等の需給見通し（米の基本指針(平成28年7月29日)）

(1) 全国の需要実績（速報値）

- 平成27/28年（平成27年7月から平成28年6月までの1年間）の需要実績（速報値）は、図1のとおり765万トン。
- 平成27/28年の需要実績については、平成28年11月に変更する米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（以下「基本指針」という。）における確定値報告に向け、精査。

図1 平成27/28年の需要実績（速報値）



注1：主食用米等生産量は、平成27年産米の水稲収穫量(主食用)（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）。

注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

(2) 平成27/28年の需要動向

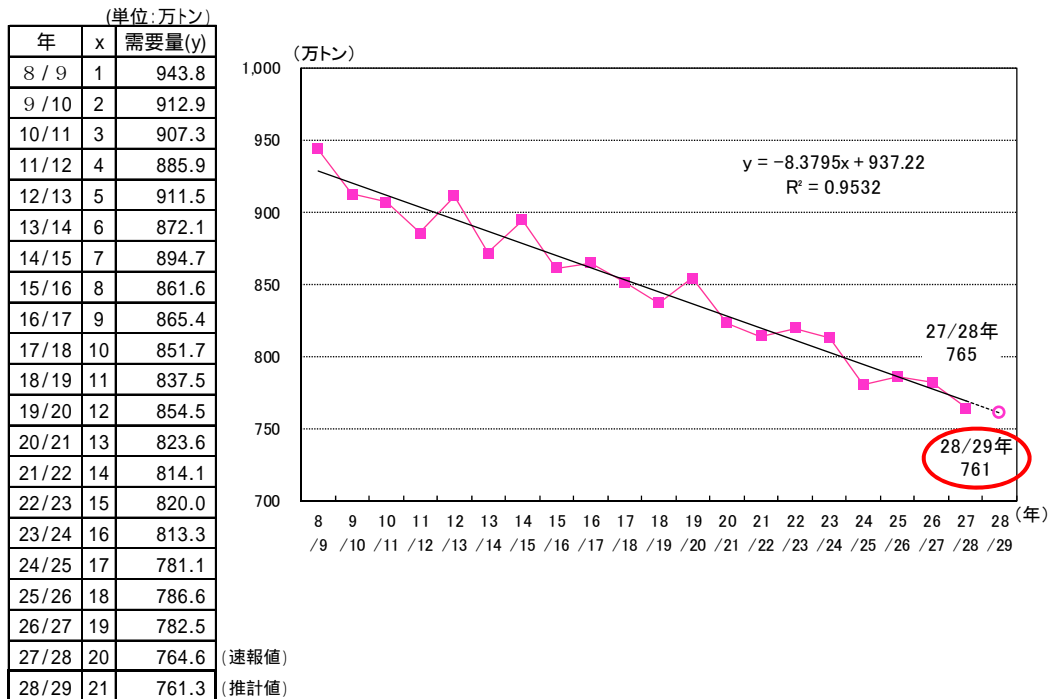
- 平成27/28年の需要量（速報値）は、昨年11月の基本指針で見通した763万トンを2万トン上回る765万トンとなった。これに伴い、平成28年6月末の民間在庫量は、見通し（207万トン）を2万トン下回る205万トンとなった。

<平成27年11月基本指針における見通し>	
平成27/28年主食用米等需要量	763万トン
平成28年6月末民間在庫量	207万トン
↓	
<実績>	
平成27/28年主食用米等需要量	765万トン
平成28年6月末民間在庫量	205万トン

注：平成27/28年の標記は、平成27年7月から翌年6月までの1年間を表します。

(3) 平成28/29年の需要見通し（推計値）

- 平成28/29年の需要見通しについては、平成8/9年から平成27/28年までの需要実績を用いてトレンドで算出し、761万トと見通す。



(4) 平成28/29年の需給見通し

- 平成28/29年の需給見通しについては、「平成28年6月末民間在庫量205万トン」及び「平成28/29年の需要見通し761万トン」を踏まえると、下の表のようになり、平成29年6月末民間在庫量は、平成28年産米が生産数量目標どおりの生産量となった場合は187万トン、自主的取組参考値どおりの生産量となった場合は179万トンと見通される。

【28/29年主食用米等需給見通し】

<27年11月基本指針における見通し>

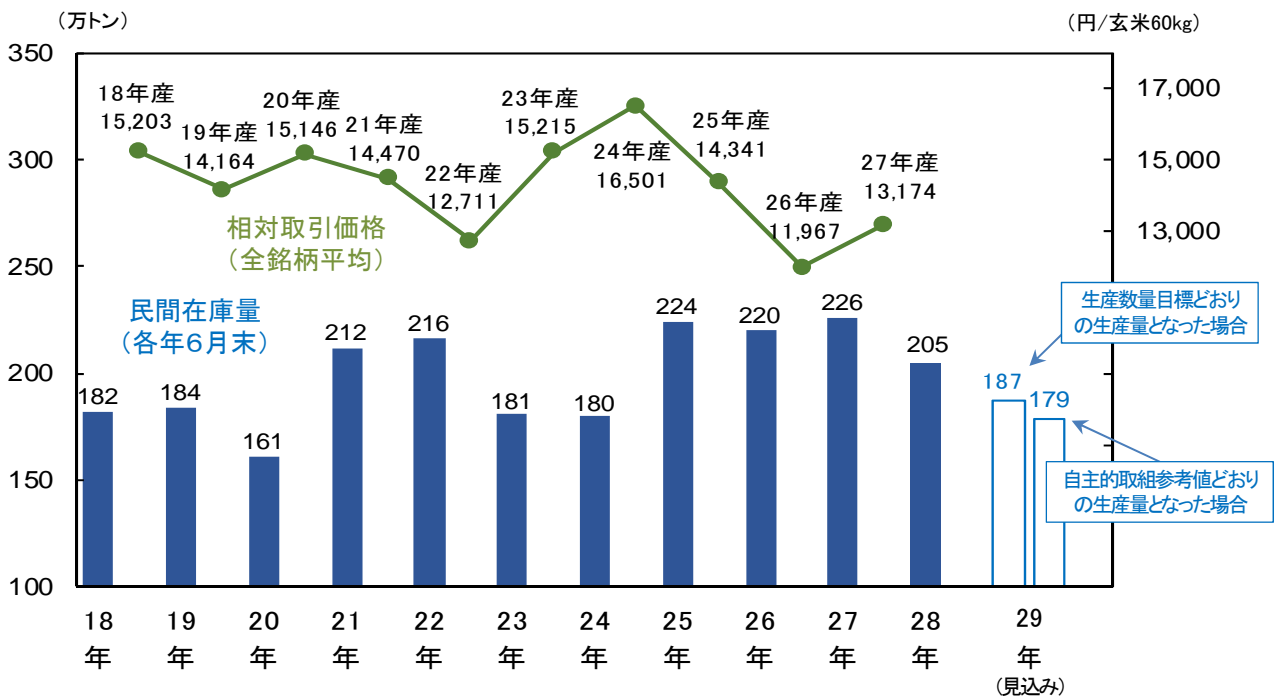
			(単位:万トン)
平成28年6月末民間在庫量	A	207	207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	950	942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762	762
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	188	180

<今回の基本指針における見通し>

			(単位:万トン)
平成28年6月末民間在庫量	A	205	205
平成28年産主食用米等生産量	B	743 (生産数量目標)	735 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	948	940
平成28/29年主食用米等需要量	D	761	761
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	187	179

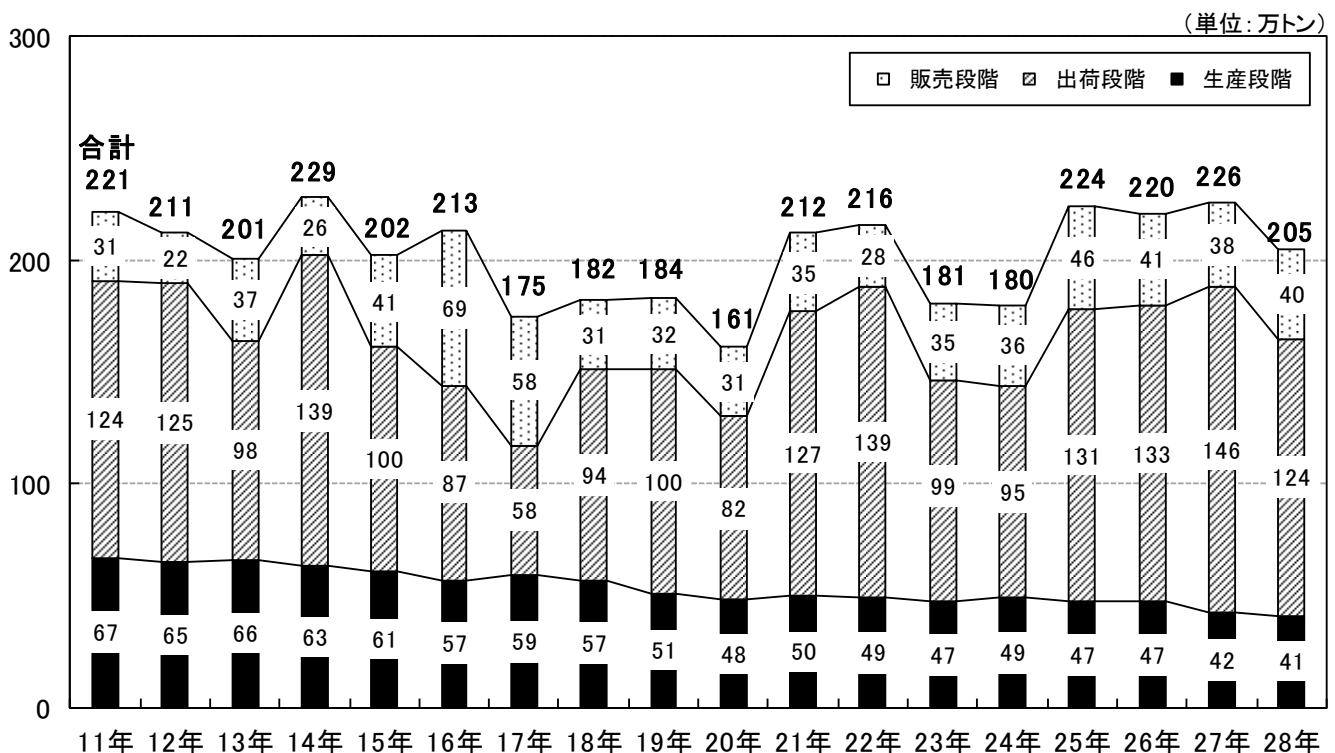
(参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は平成28年7月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

(5) 民間流通における6月末在庫量の推移



- 注：1 うち玄米及びもち玄米の値である。
 2 各年の民間在庫量において、
 ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。
 ② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
 ③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。
 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。
 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

表 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	28年産生産数量目標		28年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	743万トン	140万ha	735万トン	139万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	541,500トン	100,464ha	535,669トン	99,382ha
青森	242,460 / 7,510,000	239,877トン	41,075ha	237,294トン	40,633ha
岩手	271,210 / 7,510,000	268,321トン	50,342ha	265,432トン	49,800ha
宮城	348,620 / 7,510,000	344,906トン	65,077ha	341,193トン	64,376ha
秋田	417,540 / 7,510,000	413,092トン	72,093ha	408,644トン	71,317ha
山形	344,500 / 7,510,000	340,830トン	57,282ha	337,160トン	56,666ha
福島	339,550 / 7,510,000	335,933トン	61,980ha	332,316トン	61,313ha
茨城	337,370 / 7,510,000	333,776トン	63,698ha	330,182トン	63,012ha
栃木	298,690 / 7,510,000	295,508トン	54,724ha	292,326トン	54,134ha
群馬	75,670 / 7,510,000	74,864トン	15,155ha	74,058トン	14,991ha
埼玉	151,270 / 7,510,000	149,659トン	30,543ha	148,047トン	30,214ha
千葉	246,490 / 7,510,000	243,864トン	45,582ha	241,239トン	45,091ha
東京	770 / 7,510,000	762トン	185ha	754トン	183ha
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,247トン	2,890ha	14,093トン	2,859ha
新潟	521,290 / 7,510,000	515,737トン	95,507ha	510,184トン	94,479ha
富山	185,650 / 7,510,000	183,672トン	34,203ha	181,695トン	33,835ha
石川	123,630 / 7,510,000	122,313トン	23,567ha	120,996トン	23,313ha
福井	125,460 / 7,510,000	124,124トン	23,916ha	122,787トン	23,658ha
山梨	27,430 / 7,510,000	27,138トン	4,961ha	26,846トン	4,908ha
長野	194,000 / 7,510,000	191,933トン	30,907ha	189,867トン	30,574ha
岐阜	111,270 / 7,510,000	110,085トン	22,558ha	108,899トン	22,315ha
静岡	82,920 / 7,510,000	82,037トン	15,746ha	81,153トン	15,576ha
愛知	134,970 / 7,510,000	133,532トン	26,338ha	132,094トン	26,054ha
三重	143,510 / 7,510,000	141,981トン	28,396ha	140,453トン	28,091ha
滋賀	160,450 / 7,510,000	158,741トン	30,645ha	157,032トン	30,315ha
京都	75,930 / 7,510,000	75,121トン	14,701ha	74,312トン	14,542ha
大阪	26,220 / 7,510,000	25,941トン	5,241ha	25,661トン	5,184ha
兵庫	180,440 / 7,510,000	178,518トン	35,420ha	176,596トン	35,039ha
奈良	41,690 / 7,510,000	41,246トン	8,040ha	40,802トン	7,954ha
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,479トン	6,965ha	34,108トン	6,891ha
鳥取	66,110 / 7,510,000	65,406トン	12,725ha	64,702トン	12,588ha
島根	90,000 / 7,510,000	89,041トン	17,493ha	88,083トン	17,305ha
岡山	158,550 / 7,510,000	156,861トン	29,821ha	155,172トン	29,500ha
広島	129,970 / 7,510,000	128,585トン	24,586ha	127,201トン	24,321ha
山口	108,760 / 7,510,000	107,601トン	21,349ha	106,443トン	21,120ha
徳島	58,540 / 7,510,000	57,916トン	12,219ha	57,293トン	12,087ha
香川	70,240 / 7,510,000	69,492トン	13,926ha	68,744トン	13,776ha
愛媛	73,920 / 7,510,000	73,133トン	14,685ha	72,345トン	14,527ha
高知	50,070 / 7,510,000	49,537トン	10,769ha	49,003トン	10,653ha
福岡	182,470 / 7,510,000	180,526トン	36,178ha	178,582トン	35,788ha
佐賀	138,420 / 7,510,000	136,945トン	26,386ha	135,471トン	26,102ha
長崎	62,850 / 7,510,000	62,180トン	12,981ha	61,511トン	12,842ha
熊本	189,310 / 7,510,000	187,293トン	36,368ha	185,277トン	35,976ha
大分	117,690 / 7,510,000	116,436トン	23,148ha	115,183トン	22,899ha
宮崎	93,600 / 7,510,000	92,603トン	18,632ha	91,606トン	18,432ha
鹿児島	111,070 / 7,510,000	109,887トン	22,751ha	108,704トン	22,506ha
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,830トン	916ha	2,799トン	906ha

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成26年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成28年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

(6) 平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入札の結果 落札数量				28年産 落札合計数量
		第1回 平成28年 1月29日実施	第2回 2月10日実施	第3回 2月23日実施	第4回 3月8日実施	
北海道	11,757	0	11,757	0		11,757
青森	17,177	17,177	0	0		17,177
岩手	7,200	7,200	0	0		7,200
宮城	9,900	368	9,532	0		9,900
秋田	21,343	21,343	0	0		21,343
山形	12,707	12,707	0	0		12,707
福島	20,000	19,459	541	0		20,000
茨城	990	229	761	0		990
栃木	7,470	2,817	3,954	0		6,771
群馬	10	10	0	0		10
埼玉	432	432	0	0		432
千葉	1,100	1,100	0	0		1,100
東京						
神奈川						
新潟	22,133	22,133	0	0		22,133
富山	9,822	9,822	0	0		9,822
石川	3,970	30	3,940	0		3,970
福井	1,985	160	1,825	0		1,985
山梨						
長野	655	655	0	0		655
岐阜	495	10	485	0		495
静岡	33	0	33	0		33
愛知	724	0	723	0		723
三重	542	542	0	0		542
滋賀	1,099	123	976	0		1,099
京都						
大阪						
兵庫	217	30	0	0		30
奈良						
和歌山						
鳥取	883	10	873	0		883
島根	71	71	0	0		71
岡山	2,133	2,133	0	0		2,133
広島	201	0	0	0		0
山口	227	0	0	0		0
徳島	555	10	488	57		555
香川						
愛媛	241	10	57	12		79
高知	15	0	0	15		15
福岡	219	10	209	0		219
佐賀	539	0	539	0		539
長崎	30	0	30	0		30
熊本	408	0	61	347		408
大分	220	220	0	0		220
宮崎						
鹿児島						
沖縄						
都道府県別枠計	157,500	118,811	36,784	431		156,026
指定無し	67,500	67,500	0	0	1,474	68,974
合計	225,000	186,311	36,784	431	1,474	225,000

2 契約・販売情報

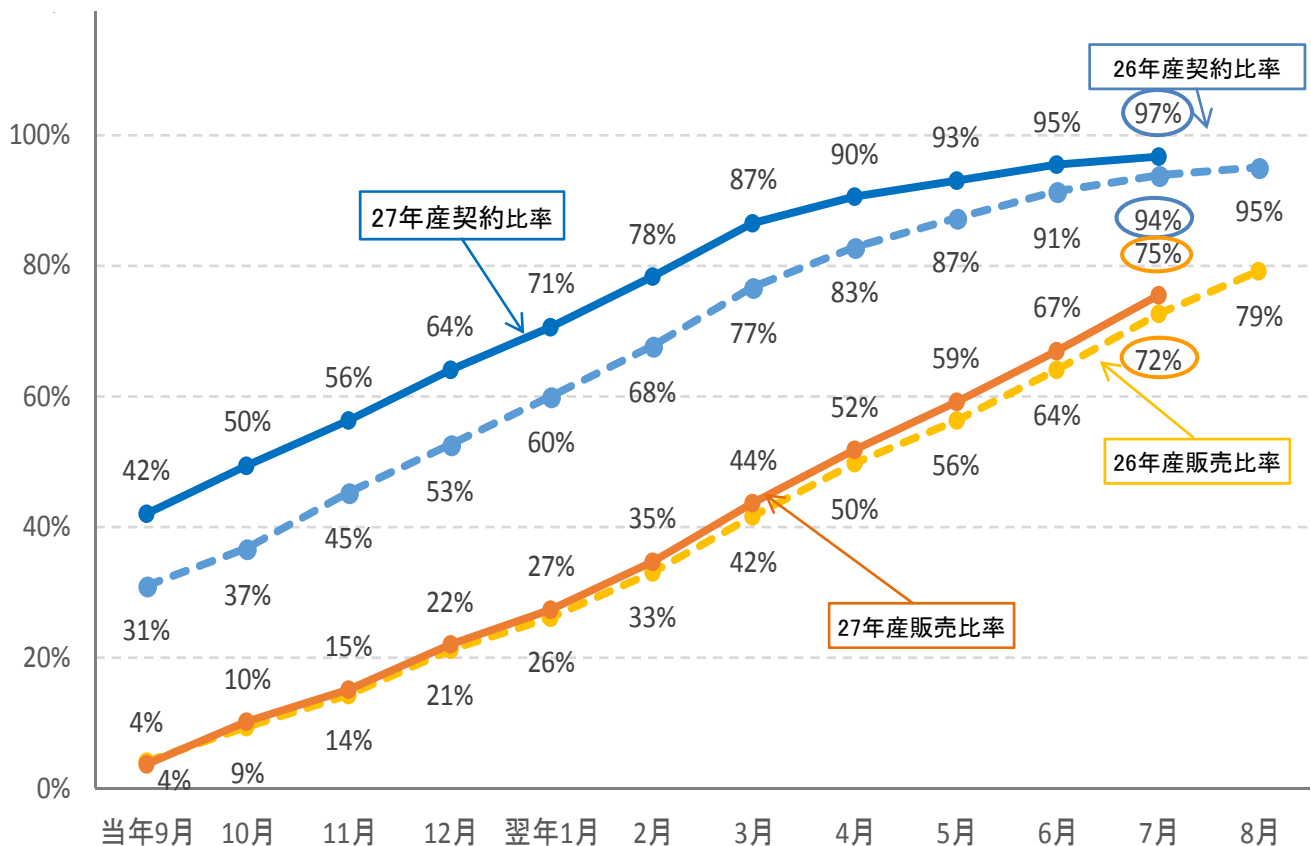
(1) 産地別契約・販売状況(速報)

- 平成28年7月末現在の平成27年産米の集荷状況は、主食用米の生産量が前年産より44万トン減少したこと等から309万トン。
- 契約数量は、事前契約が前年より多く結ばれたこと及び平成27年産米の需給状況を反映し299万トン。契約比率は、前年同月より+3%の97%。
- 販売数量は、233万トン。販売比率は、前年同月より+3%の75%。

【参考】

生産数量	744万トン		
集荷数量	309万トン	①	
契約数量	299万トン	②	(契約比率②/① 97% (前年同月比 +3%))
販売数量	233万トン	③	(販売比率③/① 75% (前年同月比 +3%))

契約・販売比率の推移(平成26・27年産)



注：平成26年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成27年10月末の集荷量で除して算出した最終実績ベース。

平成27年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成28年7月末の集荷量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる可能性がある。

平成27年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年7月末現在）

集荷・契約・販売数量（北海道から千葉まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量 (%)	契約数量 (%)	販売数量 (%)
北海道	396.7	389.4	98%	306.9	77%	+0%	+1%	+1%
(ななつぼし)	180.9	178.1	98%	144.3	80%	+9%	+9%	+9%
(きらら397)	59.5	58.8	99%	39.9	67%	▲37%	▲32%	▲38%
(ゆめぴりか)	81.8	80.3	98%	62.3	76%	+19%	+17%	+12%
青森	149.0	145.2	97%	106.0	71%	▲12%	▲2%	▲8%
(まっしぐら)	95.1	92.8	98%	61.5	65%	▲13%	▲10%	▲17%
(つがるロマン)	49.1	47.7	97%	39.9	81%	▲15%	+9%	+4%
岩手	155.7	154.7	99%	106.1	68%	+4%	+12%	+6%
(ひとめぼれ)	123.5	122.6	99%	81.9	66%	+5%	+15%	+10%
(あきたこまち)	21.3	21.3	100%	16.3	76%	+4%	+4%	▲10%
(いわてっこ)	4.0	4.0	100%	2.6	66%	▲24%	▲23%	▲19%
宮城	181.5	175.1	96%	122.1	67%	▲16%	▲1%	+3%
(ひとめぼれ)	150.4	145.1	96%	101.2	67%	▲15%	+1%	+3%
(ササニシキ)	11.3	10.9	96%	7.5	67%	▲11%	+27%	+9%
(つや姫)	10.8	10.5	97%	8.8	81%	…	…	…
秋田	277.2	261.7	94%	220.2	79%	▲9%	+3%	+3%
(あきたこまち)	226.8	214.7	95%	189.2	83%	▲7%	+3%	+1%
(めんこいな)	10.9	10.0	92%	7.7	71%	▲21%	▲4%	+91%
(ひとめぼれ)	24.0	23.8	99%	14.8	62%	▲12%	+6%	+5%
山形	212.7	184.6	87%	148.9	70%	▲14%	▲17%	▲4%
(はえぬぎ)	131.1	111.6	85%	89.5	68%	▲17%	▲19%	+9%
(つや姫)	33.1	31.2	94%	26.4	80%	+3%	+2%	▲7%
(ひとめぼれ)	22.3	20.8	93%	15.7	70%	▲11%	▲17%	▲19%
福島	138.9	130.4	94%	98.6	71%	▲9%	▲14%	▲10%
(コシヒカリ中通り)	43.2	40.3	93%	34.2	79%	▲10%	▲16%	▲11%
(コシヒカリ会津)	41.9	41.0	98%	26.3	63%	+0%	+0%	+5%
(コシヒカリ浜通り)	5.3	5.3	100%	2.4	46%	▲32%	▲32%	▲55%
(ひとめぼれ)	30.0	28.1	94%	22.0	74%	▲13%	▲18%	▲16%
(天のつぶ)	8.9	7.9	88%	7.1	79%	…	…	…
茨城	81.3	89.0	109%	61.7	76%	▲25%	▲17%	▲17%
(コシヒカリ)	64.6	71.5	111%	48.4	75%	▲22%	▲13%	▲13%
(あきたこまち)	10.6	11.5	109%	8.5	80%	▲24%	▲18%	▲21%
(ゆめひたち)	0.8	0.7	97%	0.6	73%	▲55%	▲55%	▲59%
栃木	141.8	132.6	94%	77.7	55%	▲23%	▲24%	▲27%
(コシヒカリ)	120.6	112.7	93%	65.5	54%	▲16%	▲17%	▲26%
(あさひの夢)	9.2	8.6	93%	4.2	46%	▲61%	▲62%	▲54%
(なすひかり)	6.7	6.2	93%	3.8	57%	▲35%	▲33%	▲36%
群馬	18.9	18.9	100%	10.9	58%	▲28%	▲28%	▲37%
(あさひの夢)	11.6	11.6	100%	5.8	50%	▲33%	▲33%	▲43%
(ゆめまつり)	4.6	4.6	100%	3.2	69%	…	…	…
(ゴロピカリ)	0.2	0.2	100%	0.1	43%	▲85%	▲85%	▲88%
埼玉	21.8	20.3	93%	14.3	66%	▲23%	▲26%	▲7%
(彩のかがやき)	10.4	9.7	93%	6.7	65%	▲28%	▲30%	▲27%
(コシヒカリ)	7.0	6.6	93%	4.9	70%	▲3%	▲6%	+25%
(キヌヒカリ)	1.4	1.3	92%	0.6	47%	▲25%	▲27%	▲14%
千葉	95.5	95.6	100%	85.1	89%	▲23%	▲22%	▲16%
(コシヒカリ)	52.4	51.9	99%	45.8	87%	▲17%	▲17%	▲14%
(ふさこがね)	16.6	16.5	99%	14.8	89%	▲42%	▲42%	▲33%
(ふさおとめ)	21.8	22.0	101%	20.1	92%	▲12%	▲11%	+8%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

9 「参考：前年同月比」の「…」は、26年産では調査の対象銘柄でなかったこと等から、27年産米との比較が出来ないもの。

集荷・契約・販売数量(東京から鳥取まで)

	集荷数量 ① (玄米千トン)	契約数量 ② (玄米千トン)	契約比率 ②/①	販売数量 ③ (玄米千トン)	販売比率 ③/①	参考: 前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
						(%)	(%)	(%)
東京	-	-	-	-	-
神奈川	2.7	2.4	91%	2.4	91%	+9%	+10%	+10%
山梨	5.9	4.6	77%	4.6	77%	+1%	+12%	+12%
(コシヒカリ)	5.2	4.0	76%	4.0	76%	+2%	+14%	+14%
(あさひの夢)	0.2	0.1	71%	0.1	71%	▲19%	+18%	+18%
長野	68.9	68.1	99%	54.9	80%	▲1%	+0%	+4%
(コシヒカリ)	53.5	52.9	99%	42.4	79%	+1%	+1%	+4%
(あきたこまち)	8.8	8.6	98%	7.5	85%	▲8%	▲3%	+9%
静岡	9.6	8.5	89%	8.5	89%	▲5%	▲5%	▲5%
(コシヒカリ)	6.3	5.7	90%	5.7	90%	▲5%	▲9%	▲9%
(きぬむすめ)	1.1	1.0	88%	1.0	88%
(あいちのかおり)	1.1	0.8	77%	0.8	77%	▲7%	▲1%	▲1%
新潟	257.5	254.5	99%	207.1	80%	▲12%	▲12%	▲14%
(コシヒカリ一般)	142.2	140.8	99%	109.6	77%	▲8%	▲7%	▲12%
(コシヒカリ魚沼)	22.4	21.5	96%	19.7	88%	▲29%	▲30%	▲32%
(コシヒカリ岩船)	12.1	11.9	98%	10.0	82%	▲12%	▲11%	▲12%
(コシヒカリ佐渡)	15.1	14.9	99%	12.2	81%	▲6%	▲7%	▲11%
(こしいぶき)	43.5	43.2	99%	36.7	84%	▲22%	▲23%	▲18%
富山	106.5	103.6	97%	86.9	82%	▲4%	▲3%	▲7%
(コシヒカリ)	88.7	85.9	97%	72.2	81%	▲5%	▲4%	▲11%
(てんたかく)	9.2	9.1	99%	7.6	83%	▲9%	▲4%	+7%
石川	33.2	33.0	99%	18.8	57%	▲9%	▲7%	▲11%
(コシヒカリ)	22.6	22.6	100%	13.0	57%	▲9%	▲10%	▲18%
(ゆめみづほ)	7.8	7.6	98%	4.4	57%	▲8%	+4%	+22%
福井	65.2	64.4	99%	55.3	85%	+0%	▲1%	+2%
(コシヒカリ)	31.1	30.8	99%	26.2	84%	+2%	+1%	▲8%
(ハナエチゼン)	19.5	19.4	99%	17.5	90%	▲8%	▲9%	▲10%
岐阜	28.7	28.1	98%	20.1	70%	▲17%	▲17%	▲7%
(ハツシモ)	13.3	13.0	98%	8.2	62%	▲21%	▲21%	▲3%
(コシヒカリ)	7.9	7.8	98%	6.4	81%	▲2%	▲3%	▲8%
(あきたこまち)	2.4	2.4	100%	2.2	92%	▲18%	▲18%	▲15%
愛知	35.4	30.1	85%	25.9	73%	▲14%	▲26%	▲11%
(あいちのかおり)	17.5	13.0	75%	11.4	65%	▲16%	▲37%	▲2%
(コシヒカリ)	11.4	11.0	97%	9.3	82%	▲14%	▲16%	▲21%
(大地の風)	1.5	1.3	86%	1.2	83%	▲15%	▲27%	▲18%
三重	31.2	31.0	99%	26.0	83%	+0%	▲1%	+1%
(コシヒカリ一般)	17.2	17.2	100%	14.7	85%	+0%	+0%	▲7%
(コシヒカリ伊賀)	7.1	6.9	98%	5.8	82%	+16%	+14%	+26%
(キヌヒカリ)	2.8	2.8	100%	2.0	71%	▲6%	▲6%	+8%
滋賀	63.7	64.1	100%	54.5	85%	▲5%	▲4%	▲3%
(コシヒカリ)	23.8	23.8	100%	20.4	86%	▲1%	▲1%	▲8%
(キヌヒカリ)	14.1	14.1	100%	12.6	89%	▲17%	▲17%	▲8%
(日本晴)	7.4	7.4	100%	4.7	64%	▲12%	▲11%	▲3%
京都	13.7	13.7	100%	10.9	79%	▲11%	▲11%	▲11%
(コシヒカリ)	7.6	7.6	100%	6.0	79%	▲15%	▲15%	▲16%
(キヌヒカリ)	3.4	3.4	100%	2.8	82%	▲8%	▲8%	+5%
大阪	-	-	-	-	-
兵庫	42.6	41.3	97%	32.8	77%	+4%	+3%	▲3%
(コシヒカリ)	11.1	11.0	99%	9.3	84%	▲5%	▲5%	▲15%
(ヒノヒカリ)	5.1	5.0	97%	4.2	82%	+0%	+2%	+9%
(キヌヒカリ)	4.6	4.5	99%	4.0	88%	▲4%	▲3%	▲3%
奈良	10.0	10.0	100%	7.8	78%	+3%	+3%	+3%
(ヒノヒカリ)	8.0	8.0	100%	6.2	77%	+7%	+7%	+7%
(コシヒカリ)	0.5	0.5	100%	0.4	84%	▲16%	▲16%	▲20%
和歌山	1.8	1.8	100%	1.2	68%	+24%	+24%	+28%
鳥取	22.0	20.6	94%	18.2	83%	▲18%	▲18%	▲18%
(ひとめぼれ)	7.8	7.5	97%	6.8	87%	▲24%	▲21%	▲24%
(コシヒカリ)	6.8	6.2	92%	5.7	84%	▲17%	▲19%	▲21%
(きぬむすめ)	6.9	6.4	92%	5.3	77%

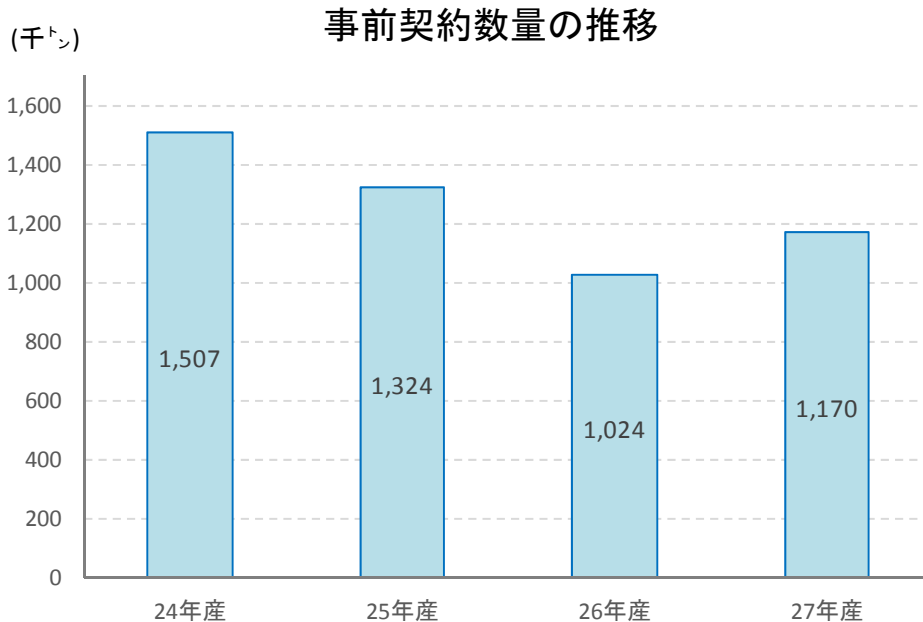
集荷・契約・販売数量(島根から沖縄まで、全国計)

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考: 前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量 (%)	契約数量 (%)	販売数量 (%)
島 根	37.9	36.4	96%	32.3	85%	▲ 12%	+ 3%	+ 13%
(コシヒカリ)	18.2	17.4	96%	15.8	87%	▲ 18%	▲ 13%	▲ 9%
(きぬむすめ)	13.7	13.2	96%	11.0	80%	▲ 7%	+ 33%	+ 65%
(ハナエチゼン)	1.5	1.4	98%	1.3	89%	▲ 24%	+ 2%	+ 13%
岡 山	20.3	19.7	97%	13.2	65%	▲ 32%	▲ 33%	▲ 32%
(アケボノ)	4.9	4.7	97%	2.3	47%	▲ 45%	▲ 46%	▲ 48%
(あきたこまち)	2.4	2.4	98%	1.9	79%	▲ 24%	▲ 22%	▲ 23%
(ヒノヒカリ)	2.3	2.1	94%	1.4	60%	▲ 41%	▲ 43%	▲ 51%
広 島	33.8	35.9	106%	27.5	81%	▲ 8%	+ 3%	▲ 8%
(コシヒカリ)	14.9	15.6	104%	13.0	87%	▲ 6%	+ 2%	▲ 9%
(あきろまん)	3.9	5.3	137%	3.2	83%	▲ 26%	+ 6%	▲ 16%
(ヒノヒカリ)	2.7	2.9	108%	2.0	74%	▲ 17%	▲ 4%	▲ 14%
山 口	34.6	32.5	94%	23.6	68%	▲ 6%	▲ 11%	▲ 9%
(コシヒカリ)	10.5	9.7	92%	8.0	76%	▲ 5%	▲ 12%	▲ 13%
(ひとめぼれ)	8.0	7.2	91%	5.8	73%	▲ 15%	▲ 22%	▲ 9%
(ヒノヒカリ)	7.3	6.7	92%	4.6	62%	▲ 6%	▲ 13%	▲ 11%
徳 島	5.3	5.1	95%	5.0	95%	▲ 49%	▲ 49%	▲ 48%
(コシヒカリ)	3.4	3.1	93%	3.1	93%	▲ 53%	▲ 55%	▲ 55%
(キヌヒカリ)	1.4	1.4	100%	1.4	98%	▲ 31%	▲ 31%	▲ 22%
香 川	24.9	24.9	100%	18.5	74%	▲ 11%	▲ 11%	▲ 13%
(ヒノヒカリ)	10.9	10.9	100%	8.0	73%	▲ 23%	▲ 23%	▲ 22%
(コシヒカリ)	7.6	7.6	100%	6.2	81%	▲ 6%	▲ 6%	▲ 17%
愛 媛	13.7	13.2	97%	10.4	76%	▲ 6%	▲ 7%	▲ 3%
(コシヒカリ)	4.6	4.5	98%	4.0	87%	▲ 1%	▲ 1%	▲ 5%
(ヒノヒカリ)	2.5	2.5	99%	2.1	82%	▲ 23%	▲ 22%	▲ 15%
(あきたこまち)	1.9	1.9	99%	1.5	78%	▲ 13%	▲ 12%	▲ 10%
高 知	6.0	6.0	100%	6.0	100%	▲ 21%	▲ 21%	▲ 21%
(コシヒカリ)	4.7	4.7	100%	4.7	100%	▲ 22%	▲ 22%	▲ 22%
(ヒノヒカリ)	0.1	0.1	100%	0.1	100%	+ 13%	+ 13%	+ 13%
福 岡	54.8	49.9	91%	39.8	73%	▲ 3%	▲ 7%	▲ 6%
(夢つくし)	16.6	15.7	94%	14.9	90%	▲ 6%	▲ 9%	▲ 4%
(ヒノヒカリ)	18.2	16.8	92%	10.0	55%	▲ 7%	▲ 11%	▲ 23%
(元気つくし)	16.6	15.0	90%	13.1	79%
佐 賀	45.6	45.5	100%	33.2	73%	+ 7%	+ 14%	+ 7%
(夢しずく)	12.8	12.8	100%	10.2	79%	▲ 1%	+ 12%	+ 10%
(さがびより)	14.4	14.3	100%	10.0	70%	+ 14%	+ 14%	+ 11%
(ヒノヒカリ)	11.6	11.6	100%	7.9	68%	+ 13%	+ 25%	+ 10%
長 崎	12.3	12.3	100%	8.6	70%	+ 14%	+ 14%	+ 4%
(にこまる)	5.1	5.1	100%	3.4	66%	+ 19%	+ 18%	▲ 1%
(ヒノヒカリ)	3.8	3.8	100%	2.6	70%	+ 17%	+ 17%	+ 12%
(コシヒカリ)	1.7	1.7	100%	1.5	87%	▲ 3%	▲ 3%	▲ 4%
熊 本	39.0	36.9	95%	30.2	77%	▲ 13%	▲ 6%	▲ 18%
(ヒノヒカリ)	17.3	15.8	91%	12.7	73%	▲ 11%	▲ 8%	▲ 17%
(森のくまさん)	7.7	7.3	95%	5.4	70%	+ 9%	+ 5%	▲ 12%
(コシヒカリ)	6.0	6.0	101%	5.6	94%	▲ 21%	▲ 14%	▲ 19%
大 分	15.4	15.3	99%	10.8	70%	▲ 13%	▲ 14%	▲ 15%
(ヒノヒカリ)	11.2	11.1	99%	7.6	68%	▲ 10%	▲ 11%	▲ 13%
(ひとめぼれ)	0.8	0.9	105%	0.6	73%	▲ 26%	▲ 23%	▲ 37%
宮 崎	15.2	15.2	100%	14.2	94%	▲ 27%	▲ 27%	▲ 29%
(コシヒカリ)	8.8	8.8	100%	8.8	100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 34%
(ヒノヒカリ)	5.4	5.4	100%	4.6	85%	▲ 8%	▲ 8%	▲ 15%
鹿 児 島	14.5	14.5	100%	12.2	84%	▲ 24%	▲ 24%	▲ 26%
(ヒノヒカリ)	6.8	6.8	100%	5.1	75%	▲ 15%	▲ 15%	▲ 19%
(コシヒカリ)	3.2	3.2	100%	3.2	100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 34%
(あきほなみ)	2.7	2.7	100%	2.3	83%	▲ 13%	▲ 13%	▲ 12%
沖 縄	1.6	1.6	100%	1.6	100%	▲ 7%	▲ 7%	▲ 7%
全 国 ①	3,090	2,987	97%	2,327	75%	▲ 10%	▲ 7%	▲ 7%
参 前年同月(26年産)②	3,437	3,226	94%	2,489	72%			
考 前年同月差①-②	▲ 347	▲ 239	+ 3ポイント	▲ 162	+ 3ポイント			

(2) 産地別事前契約数量

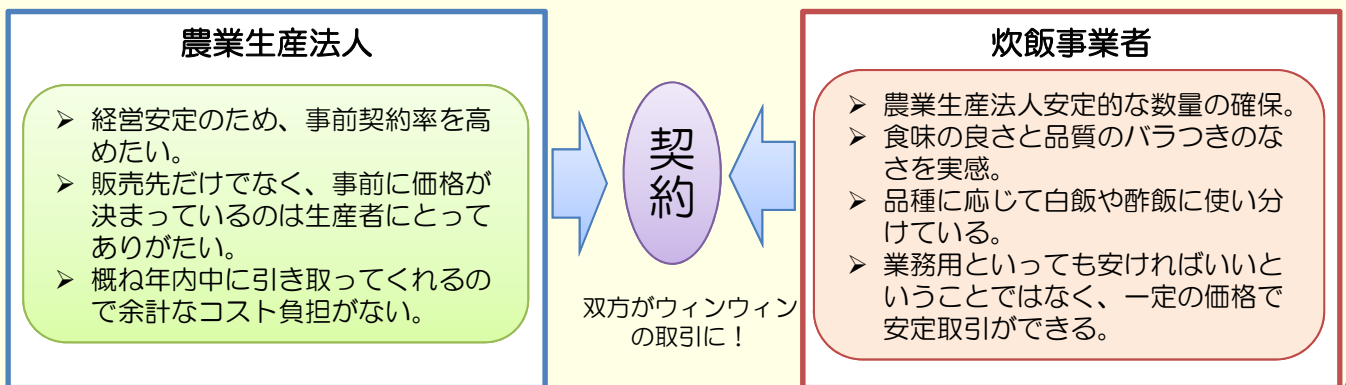
- 事前契約数量は、平成24年産以降は2年続けて減少していたが、平成27年産米では、前年産に比べ15万トン多い117万トンという水準。集荷数量に対する事前契約数量の比率は38%。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕



生産法人と業務用実需者との事前契約の取組事例

- 平成24年産米の価格上昇により、中食・外食事業者においては、弁当や寿司業界等のニーズに応じた値頃感のある米の確保が困難となっていたところ。
- こうした中、A県の農業生産法人では、品質（食味）、価格条件等の実需者のニーズに応じて品種を作り分けることにより、生産量の約8割を事前契約や複数年契約で安定的な取引を実現。
- 例えば、当該農業生産法人は、炊飯事業者との取引において、希望のあった品種を一定の数量、価格で事前契約を行っており、翌年産米の取引では、前年の10倍の数量契約を締結し、安定した品質の米を納入。現在まで契約数量の全てが納入済といった状況。価格は、生産コストや流通コスト等を踏まえた再生産可能な価格を基本に実需者と協議して決定。



産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成28年7月末現在)(速報)

単位: 玄米千トン

	24年産			25年産			26年産			27年産(平成28年7月末現在)		
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤	集荷数量 ⑦	うち事前契約分 ⑧	事前契約比率 ⑧/⑦
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	167.0	43%	398.0	161.0	40%	396.7	150.0	38%
青森	123.6	43.3	35%	165.1	46.9	28%	169.6	26.1	15%	149.0	45.8	31%
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	150.2	47.7	32%	155.7	70.9	46%
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%	181.5	108.6	60%
秋田	297.7	148.7	50%	319.5	102.6	32%	303.9	68.5	23%	277.2	80.1	29%
山形	235.0	75.5	32%	259.0	56.9	22%	242.7	52.8	22%	212.7	48.4	23%
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%	138.9	32.0	23%
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	109.8	46.0	42%	81.3	53.2	65%
栃木	164.7	59.0	36%	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%	141.8	61.2	43%
群馬	27.9	-	-	26.9	-	-	26.3	-	-	18.9	-	-
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%	21.8	5.8	27%
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	123.8	31.3	25%	95.5	41.8	44%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.2	-	-	2.1	-	-	2.4	-	-	2.7	-	-
山梨	6.1	-	-	6.3	-	-	5.9	-	-	5.9	-	-
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%	68.9	21.5	31%
静岡	9.6	-	-	7.9	-	-	10.2	-	-	9.6	-	-
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	292.4	122.3	42%	257.5	144.7	56%
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%	106.5	29.5	28%
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%	33.2	14.0	42%
福井	71.7	41.9	58%	72.0	56.3	78%	65.2	7.8	12%	65.2	7.3	11%
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%	28.7	9.5	33%
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	41.1	-	-	35.4	10.6	30%
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%	31.2	16.5	53%
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%	63.7	38.6	61%
京都	17.7	10.6	60%	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%	13.7	6.1	44%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.4	-	-	42.6	-	-	41.1	-	-	42.6	-	-
奈良	8.4	-	-	8.6	-	-	9.7	-	-	10.0	-	-
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%	1.8	1.5	86%
鳥取	29.3	7.5	25%	29.0	10.6	37%	27.0	6.9	25%	22.0	5.7	26%
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	43.5	11.3	26%	37.9	18.7	49%
岡山	31.5	-	-	31.9	-	-	30.1	10.0	33%	20.3	-	-
広島	45.3	-	-	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%	33.8	24.5	72%
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%	34.6	22.9	66%
徳島	15.0	-	-	14.3	-	-	10.3	-	-	5.3	-	-
香川	32.1	19.3	60%	31.7	19.1	60%	28.3	13.2	46%	24.9	12.2	49%
愛媛	15.6	-	-	15.2	-	-	14.6	-	-	13.7	-	-
高知	9.2	-	-	8.8	-	-	7.6	-	-	6.0	1.2	20%
福岡	54.1	23.7	44%	54.2	25.7	47%	56.9	25.0	44%	54.8	27.3	50%
佐賀	42.4	20.4	48%	40.8	23.8	58%	42.7	23.8	56%	45.6	23.9	53%
長崎	11.2	-	-	11.6	-	-	10.9	-	-	12.3	-	-
熊本	49.1	25.7	52%	49.3	23.9	48%	45.1	22.9	51%	39.0	21.3	55%
大分	18.0	1.1	6%	18.6	1.6	9%	17.9	1.0	5%	15.4	1.1	7%
宮崎	23.0	19.8	86%	23.0	18.7	81%	20.8	14.7	71%	15.2	13.2	87%
鹿児島	19.8	-	-	21.9	-	-	19.0	-	-	14.5	-	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.7	-	-	1.6	-	-
全国	3,400	1,507	44%	3,520	1,324	38%	3,436	1,024	30%	3,090	1,170	38%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 24年産は、25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産及び26年産は生産年の翌年10月末時点、27年産は28年7月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

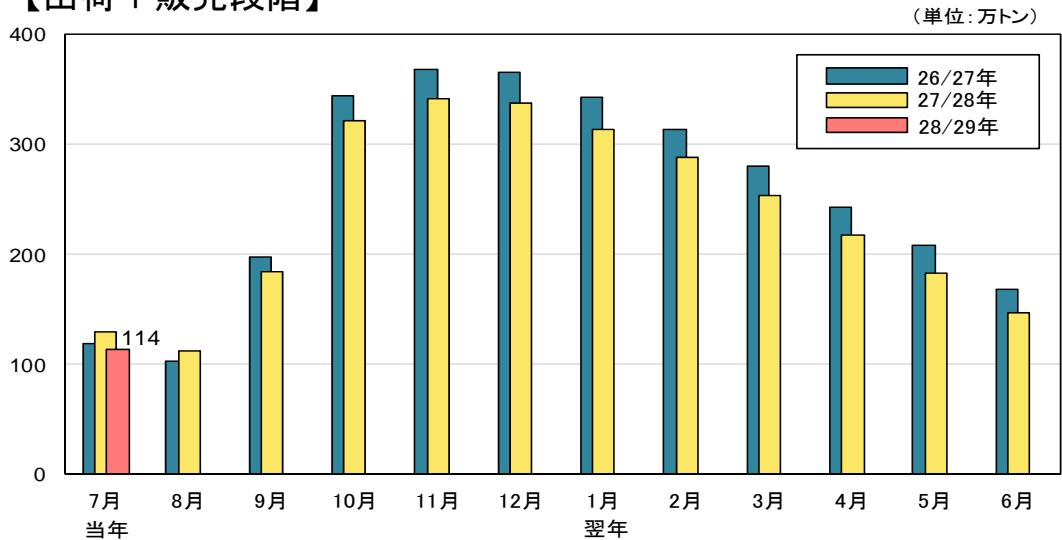
Ⅳ 米の在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成22年7月末～平成28年7月末）（速報）

- 平成28/29年の平成28年7月末の出荷及び販売段階における在庫は、前年同月より▲16万トンの114万トンと減少。
- 平成27/28年後半の前年同月差は▲20万トンを超える水準であったが、平成28年7月末の前年同月差は▲16万トンとなっている。

※ 都道府県別在庫量は、20頁以降参照。

【出荷＋販売段階】



(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	288	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲25	▲24	▲22
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114											
対前年差	▲16											
28年産米	1											
1年古米(27年産)	104											

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、28/29年であれば、28年7月～29年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
 7 米穀機種の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	116
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲21	▲24	▲21	▲21	▲22
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89											
対前年差	▲16											
28年産米	1											
1年古米(27年産)	85											

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	-▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25											
対前年差	+1											
28年産米	0											
1年古米(27年産)	19											

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成27年産(28年7月末)

【出荷＋販売段階】

(単位:千トン)

産地	27年産 (H28.7末)	26年産 (H27.7末)	前年 同月比	産地	27年産 (H28.7末)	26年産 (H27.7末)	前年 同月比
北海道	114.6	122.8	93%	滋賀	15.3	16.8	91%
青森	62.3	69.5	90%	京都	5.0	4.6	109%
岩手	56.0	56.2	100%	大阪	0.7	0.6	122%
宮城	68.9	110.2	63%	兵庫	14.6	10.4	140%
秋田	73.8	104.8	70%	奈良	2.6	2.3	112%
山形	81.0	104.9	77%	和歌山	0.8	0.8	110%
福島	62.3	58.4	107%	鳥取	6.9	9.5	73%
茨城	40.1	46.0	87%	島根	7.0	15.8	45%
栃木	74.6	87.6	85%	岡山	17.1	18.5	92%
群馬	10.2	11.0	93%	広島	9.5	10.1	94%
埼玉	10.8	15.5	70%	山口	12.6	10.1	125%
千葉	19.5	35.1	56%	徳島	1.7	1.9	90%
東京	0.0	0.0		香川	7.1	7.6	93%
神奈川	0.3	0.4	65%	愛媛	4.6	4.8	96%
新潟	66.7	66.0	101%	高知	2.1	1.0	203%
富山	27.1	21.8	124%	福岡	20.5	19.2	107%
石川	19.0	19.3	98%	佐賀	14.3	13.4	107%
福井	15.3	14.5	105%	長崎	4.6	3.3	143%
山梨	1.6	2.1	77%	熊本	16.2	12.9	125%
長野	19.3	21.0	92%	大分	6.9	7.0	99%
岐阜	10.6	14.6	73%	宮崎	3.5	2.4	145%
静岡	2.2	2.5	88%	鹿児島	7.9	6.7	119%
愛知	12.2	14.3	85%	沖縄	0.0	0.0	-
三重	8.2	7.6	108%	全国計	1,039	1,187	88%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

(3) 平成27・28年産の産地別民間在庫の推移
(うるち米、平成28年7月末から平成29年6月末) (速報)

産地別民間在庫の推移① (北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	117.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	114.6											
	出荷段階	93.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	92.0											
	販売段階	23.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	22.5											
青森	出荷+販売段階	63.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	62.3											
	出荷段階	47.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	47.2											
	販売段階	16.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	15.1											
岩手	出荷+販売段階	58.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	56.0											
	出荷段階	50.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	50.2											
	販売段階	7.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.8											
宮城	出荷+販売段階	75.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	68.9											
	出荷段階	65.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	62.4											
	販売段階	10.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	6.5											
秋田	出荷+販売段階	84.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	73.8											
	出荷段階	64.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	60.1											
	販売段階	19.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	13.7											

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米（26年産）の合計と一致しない場合がある。

(お知らせ)

平成26年2月から平成28年6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。
 (ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)
[【http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html】](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html)

産地別民間在庫の推移②（山形から埼玉）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	90.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	81.0											
	出荷段階	75.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	69.8											
	販売段階	14.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	11.1											
福島	出荷+販売段階	65.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	62.3											
	出荷段階	48.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	46.2											
	販売段階	17.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	16.0											
茨城	出荷+販売段階	44.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	40.1											
	出荷段階	27.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	25.3											
	販売段階	17.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	14.8											
栃木	出荷+販売段階	86.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	74.6											
	出荷段階	72.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	65.2											
	販売段階	14.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	9.4											
群馬	出荷+販売段階	10.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	10.2											
	出荷段階	8.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	8.1											
	販売段階	2.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.1											
埼玉	出荷+販売段階	12.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	10.8											
	出荷段階	9.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	8.4											
	販売段階	2.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.4											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移③（千葉から静岡）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	20.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	19.5											
	出荷段階	14.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	14.4											
東京	出荷+販売段階	0.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.0											
	出荷段階	0.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.0											
神奈川	出荷+販売段階	0.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.3											
	出荷段階	0.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.3											
山梨	出荷+販売段階	1.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.6											
	出荷段階	1.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.4											
長野	出荷+販売段階	19.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	19.3											
	出荷段階	15.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	15.8											
静岡	出荷+販売段階	2.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.2											
	出荷段階	1.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.7											
	販売段階	0.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.5											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移④（新潟から愛知）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	70.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	66.7											
	出荷段階	58.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	55.4											
	販売段階	12.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	11.3											
富山	出荷＋販売段階	27.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	27.1											
	出荷段階	21.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	21.8											
	販売段階	5.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.3											
石川	出荷＋販売段階	19.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	19.0											
	出荷段階	16.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	16.0											
	販売段階	3.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	3.0											
福井	出荷＋販売段階	15.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	15.3											
	出荷段階	11.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	10.8											
	販売段階	4.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.5											
岐阜	出荷＋販売段階	11.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	10.6											
	出荷段階	9.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	8.9											
	販売段階	2.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.7											
愛知	出荷＋販売段階	12.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	12.2											
	出荷段階	11.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	11.0											
	販売段階	1.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.2											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑤（三重から奈良）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	8.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	8.2											
	出荷段階	6.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	6.3											
	販売段階	2.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.9											
滋賀	出荷＋販売段階	15.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	15.3											
	出荷段階	12.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	12.4											
	販売段階	3.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.9											
京都	出荷＋販売段階	5.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.0											
	出荷段階	4.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.2											
	販売段階	0.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.7											
大阪	出荷＋販売段階	0.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.7											
	出荷段階	0.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.7											
	販売段階	0.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.1											
兵庫	出荷＋販売段階	14.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	14.6											
	出荷段階	12.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	12.2											
	販売段階	2.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.4											
奈良	出荷＋販売段階	3.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.6											
	出荷段階	2.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.2											
	販売段階	0.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.4											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑥（和歌山から山口）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.8											
	出荷段階	0.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.6											
	販売段階	0.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.2											
鳥取	出荷＋販売段階	7.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	6.9											
	出荷段階	5.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.2											
	販売段階	1.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.8											
島根	出荷＋販売段階	7.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	7.0											
	出荷段階	5.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.6											
	販売段階	1.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.4											
岡山	出荷＋販売段階	17.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	17.1											
	出荷段階	13.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	13.2											
	販売段階	4.0											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	3.9											
広島	出荷＋販売段階	9.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	9.5											
	出荷段階	7.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	7.1											
	販売段階	2.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.4											
山口	出荷＋販売段階	12.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	12.6											
	出荷段階	11.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	11.4											
	販売段階	1.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.2											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑦（徳島から佐賀）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.7											
	出荷段階	0.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.4											
	販売段階	1.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.3											
香川	出荷＋販売段階	7.2											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	7.1											
	出荷段階	6.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	6.4											
	販売段階	0.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.7											
愛媛	出荷＋販売段階	5.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.6											
	出荷段階	4.5											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.2											
	販売段階	0.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.5											
高知	出荷＋販売段階	2.9											
	28年産米	0.7											
	1年古米(27年産)	2.1											
	出荷段階	1.0											
	28年産米	0.5											
	1年古米(27年産)	0.4											
	販売段階	2.0											
	28年産米	0.3											
	1年古米(27年産)	1.7											
福岡	出荷＋販売段階	20.9											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	20.5											
	出荷段階	18.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	18.2											
	販売段階	2.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	2.3											
佐賀	出荷＋販売段階	14.5											
	28年産米	0.1											
	1年古米(27年産)	14.3											
	出荷段階	13.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	13.1											
	販売段階	1.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.2											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移⑧（長崎から沖縄）

（単位：玄米千トン）

		28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	4.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.6											
	出荷段階	4.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.4											
	販売段階	0.4											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	0.3											
熊本	出荷＋販売段階	16.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	16.2											
	出荷段階	11.7											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	11.7											
	販売段階	4.6											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	4.4											
大分	出荷＋販売段階	7.1											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	6.9											
	出荷段階	5.3											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	5.3											
	販売段階	1.8											
	28年産米	0.0											
	1年古米(27年産)	1.7											
宮崎	出荷＋販売段階	9.2											
	28年産米	5.6											
	1年古米(27年産)	3.5											
	出荷段階	7.1											
	28年産米	4.4											
	1年古米(27年産)	2.6											
	販売段階	2.1											
	28年産米	1.2											
	1年古米(27年産)	0.8											
鹿児島	出荷＋販売段階	10.1											
	28年産米	1.4											
	1年古米(27年産)	7.9											
	出荷段階	6.6											
	28年産米	0.7											
	1年古米(27年産)	5.4											
	販売段階	3.5											
	28年産米	0.7											
	1年古米(27年産)	2.6											
沖縄	出荷＋販売段階	0.5											
	28年産米	0.5											
	1年古米(27年産)	0.0											
	出荷段階	0.3											
	28年産米	0.3											
	1年古米(27年産)	0.0											
	販売段階	0.2											
	28年産米	0.2											
	1年古米(27年産)	0.0											

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

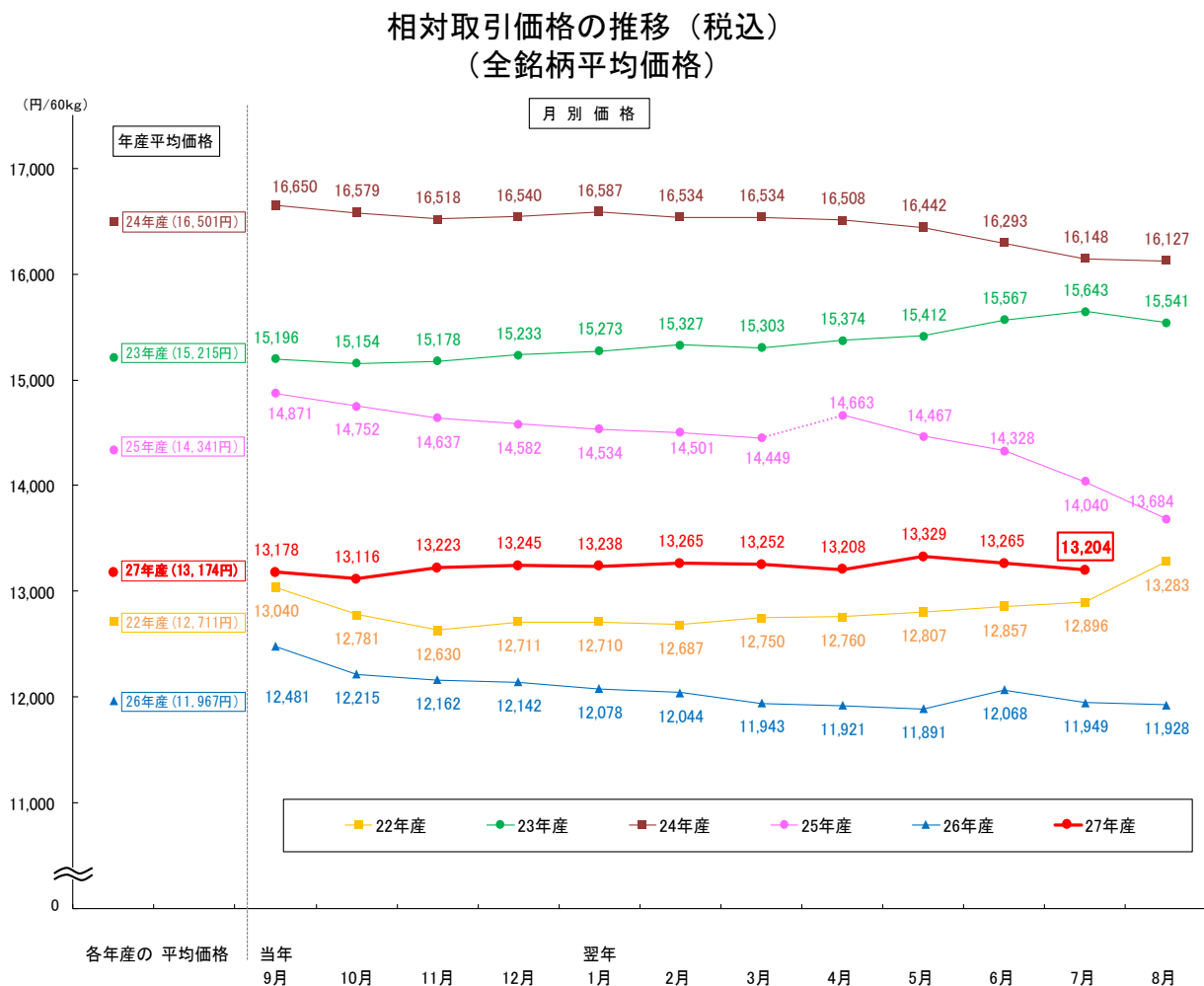
V 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

(1) 相対取引価格（年産別）

- 平成27年産米の平成28年7月の全銘柄平均価格は、前月より▲61円の13,204円/60kg。
- 前年産の同時期と比べ+1,255円/60kg。

※ 産地銘柄ごとの価格は、30頁以降を参照。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（5%。ただし、25年産の26年4月分以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は翌年7月）までの通年平均価格。

(2) 価格帯別分析結果（平成28年7月）

- 平成26年産米と平成27年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成26年産の価格が13,000円以上の銘柄は+765円、11,000円未満の銘柄では+1,697円。
- 産地銘柄ごとでは、「群馬県産あさひの夢」が最も上昇しており、次いで、「岩手県産いわてっこ」、「秋田県産めんこいな」という状況。

価格帯別相対取引価格

単位：円/玄米60kg（税込）

	26年産の相対取引価格			
	13,000円以上の銘柄の平均	13,000円～12,000円の銘柄の平均	12,000円～11,000円の銘柄の平均	11,000円未満の銘柄の平均
26年産(出回り～27年10月) ①	15,253	12,576	11,496	10,124
27年産(出回り～28年7月) (26年産価格帯ベース) ②	16,018	13,601	12,680	11,821
価格差 ②-①	+ 765	+ 1,025	+ 1,184	+ 1,697

平成26年産と平成27年産の価格差（相対取引価格上昇幅上位10銘柄）

単位：円/玄米60kg（税込）

			平成26年産 (出回り～平成27年10月) ①	平成27年産 (出回り～平成28年7月) ②	価格差 ②-①
群馬	あさひの夢		8,809	11,990	+ 3,181
岩手	いわてっこ		9,424	11,898	+ 2,474
秋田	めんこいな		9,587	11,931	+ 2,344
徳島	コシヒカリ		10,817	13,095	+ 2,278
栃木	あさひの夢		9,180	11,402	+ 2,222
福島	コシヒカリ	中通り	9,829	12,031	+ 2,202
埼玉	キヌヒカリ		9,775	11,885	+ 2,110
岐阜	コシヒカリ		12,293	14,303	+ 2,010
青森	つがるロマン		9,777	11,766	+ 1,989
埼玉	彩のかがやき		9,974	11,848	+ 1,874

(3) 相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年7月分）

相対取引価格・数量①（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年7月) ①	数量 27年産米 (28年7月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				27年産米	26年産米	対前年比
				27年産米 (28年6月)	対前年比	26年産米 (27年7月)	対前年比	27年産米 (28年6月)	対前年比	26年産米 (27年7月)	対前年比	(出回り～ 28年7月)	(出回り～ 27年10月)	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/					
北海道	ななつぼし	13,171	5,363	13,412	98%	12,473	106%	5,883	91%	5,373	100%	13,107	12,453	105%
北海道	きらら397	12,944	992	12,570	103%	11,136	116%	1,978	50%	1,283	77%	12,503	11,400	110%
北海道	ゆめびりか	16,289	2,019	16,680	98%	16,521	99%	4,155	49%	3,186	63%	16,205	15,870	102%
青森	まっしぐら	11,613	3,492	11,591	100%	9,714	120%	3,327	105%	2,657	131%	11,562	9,792	118%
青森	つがるロマン	12,316	966	12,391	99%	9,614	128%	827	117%	5,394	18%	11,766	9,777	120%
岩手	ひとめぼれ	13,076	778	13,076	100%	10,832	121%	567	137%	4,058	19%	12,930	11,324	114%
岩手	あきたこまち	12,128	209	12,466	97%	10,835	112%	112	187%	107	195%	12,419	10,911	114%
岩手	いわてっこ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,898	9,424	126%
宮城	ひとめぼれ	12,798	2,051	12,710	101%	12,021	106%	1,341	153%	7,631	27%	12,822	11,564	111%
宮城	ササニシキ	-	-	13,488	-	11,319	-	727	-	483	-	12,801	11,620	110%
宮城	つや姫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,392	-	-
秋田	あきたこまち	12,842	11,379	12,625	102%	11,545	111%	9,045	126%	15,267	75%	12,849	11,620	111%
秋田	めんこいな	11,744	236	11,830	99%	9,566	123%	314	75%	384	61%	11,931	9,587	124%
秋田	ひとめぼれ	11,917	690	11,953	100%	10,410	114%	751	92%	683	101%	12,072	10,348	117%
山形	はえぬき	12,321	5,427	12,523	98%	10,843	114%	6,189	88%	6,591	82%	12,452	10,859	115%
山形	つや姫	18,051	1,539	17,998	100%	17,138	105%	1,958	79%	1,104	139%	17,946	16,758	107%
山形	ひとめぼれ	12,437	787	13,070	95%	11,128	112%	1,376	57%	1,911	41%	13,322	12,294	108%
福島	コシヒカリ(中通り)	12,040	2,797	12,036	100%	9,599	125%	3,366	83%	321	871%	12,031	9,829	122%
福島	コシヒカリ(会津)	12,789	170	13,661	94%	10,971	117%	499	34%	1,376	12%	13,426	12,612	106%
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	-	12,327	-	10,210	-	443	-	156	-	11,122	10,005	111%
福島	ひとめぼれ	11,185	1,264	11,456	98%	9,656	116%	1,478	86%	254	498%	11,138	9,860	113%
福島	天のつぶ	10,756	376	10,909	99%	-	-	329	114%	-	-	10,529	-	-
茨城	コシヒカリ	12,737	2,199	12,799	100%	11,298	113%	2,196	100%	2,984	74%	12,639	11,667	108%
茨城	あきたこまち	-	-	-	-	10,853	-	-	-	214	-	11,764	11,013	107%
茨城	ゆめひたち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,777	9,405	115%
栃木	コシヒカリ	12,699	3,626	12,777	99%	11,483	111%	3,689	98%	6,973	52%	12,900	11,583	111%
栃木	あさひの夢	11,115	469	11,117	100%	-	-	199	236%	-	-	11,402	9,180	124%
栃木	なすひかり	11,569	173	11,993	96%	9,680	120%	261	66%	853	20%	12,011	10,490	114%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在姿での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。

3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。

6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。

8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

9 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

相対取引価格・数量②（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年7月) ①	数量 27年産米 (28年7月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				27年産米	26年産米	対前年比
				27年産米 (28年6月)	対前月比	26年産米 (27年7月)	対前年比	27年産米 (28年6月)	対前月比	26年産米 (27年7月)	対前年比	(出回り～ 28年7月)	(出回り～ 27年10月)	
群馬	あさひの夢	11,308	532	11,319	100%	8,334	136%	832	64%	1,029	52%	11,990	8,809	136%
群馬	ゆめまつり	11,289	734	11,270	100%			268	274%			11,570		
群馬	ゴロビカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,930	-
埼玉	彩のかがやき	-	-	12,048	-	-	-	226	-	-	-	11,848	9,974	119%
埼玉	コシヒカリ	-	-	12,680	-	-	-	232	-	-	-	12,874	11,346	113%
埼玉	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,885	9,775	122%
千葉	コシヒカリ	12,397	1,312	12,590	98%	12,197	102%	753	174%	777	169%	12,533	11,523	109%
千葉	ふさこがね	11,366	155	10,377	110%	9,752	117%	100	155%	560	28%	11,121	9,650	115%
千葉	ふさおとめ	-	-	-	-	10,260	-	-	-	662	-	10,994	10,300	107%
山梨	コシヒカリ	13,905	1,004	16,755	83%	15,539	89%	358	280%	347	289%	15,870	15,482	103%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,398	12,247	109%
長野	コシヒカリ	-	-	13,469	-	13,044	-	2,156	-	712	-	13,782	13,014	106%
長野	あきたこまち	-	-	-	-	11,633	-	-	-	241	-	12,485	11,451	109%
静岡	コシヒカリ	14,360	205	14,184	101%	13,462	107%	323	63%	190	108%	14,237	13,497	105%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-			-	-			12,613		
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,628	11,932	106%
新潟	コシヒカリ(一般)	15,606	1,605	16,506	95%	15,220	103%	1,215	132%	6,310	25%	16,186	15,451	105%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,944	833	20,828	101%	20,316	103%	787	106%	857	97%	20,422	19,480	105%
新潟	コシヒカリ(岩船)	-	-	16,963	-	15,868	-	298	-	147	-	16,629	15,922	104%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,100	137	-	-	15,956	101%	-	-	155	88%	16,600	15,817	105%
新潟	こしいぶき	12,346	212	12,753	97%	11,085	111%	378	56%	1,206	18%	12,409	11,292	110%
富山	コシヒカリ	14,115	2,562	14,036	101%	12,606	112%	3,713	69%	1,343	191%	14,236	12,995	110%
富山	てんたかく	-	-	12,299	-	-	-	502	-	-	-	12,565	11,470	110%
石川	コシヒカリ	-	-	13,606	-	12,542	-	324	-	426	-	13,903	12,813	109%
石川	ゆめみづほ	11,821	181	-	-	10,317	115%	-	-	1,122	16%	11,911	10,356	115%
福井	コシヒカリ	14,425	164	14,120	102%	-	-	328	50%	-	-	14,201	12,951	110%
福井	ハナエチゼン	-	-	-	-	11,169	-	-	-	764	-	12,520	11,405	110%
岐阜	ハツシモ	13,473	188	13,376	101%	10,556	128%	133	141%	711	26%	12,782	11,472	111%
岐阜	コシヒカリ	14,772	158	15,292	97%	12,160	121%	163	97%	436	36%	14,303	12,293	116%
岐阜	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,536	11,066	113%
愛知	あいちのかおり	12,363	402	12,379	100%	11,187	111%	257	156%	643	63%	12,375	11,299	110%
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,207	12,025	110%
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,049	11,276	107%
三重	コシヒカリ(一般)	-	-	-	-	12,111	-	-	-	119	-	13,626	12,313	111%
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,124	12,517	113%
三重	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,559	11,087	113%
滋賀	コシヒカリ	-	-	14,363	-	-	-	136	-	-	-	13,597	12,689	107%
滋賀	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,256	11,338	108%
滋賀	日本晴	-	-	11,868	-	10,974	-	182	-	247	-	11,862	10,963	108%
京都	コシヒカリ	-	-	-	-	13,092	-	-	-	308	-	14,110	13,039	108%
京都	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,729	11,869	107%
兵庫	コシヒカリ	14,145	191	14,557	97%	-	-	305	63%	-	-	14,479	13,580	107%
兵庫	ヒノヒカリ	12,971	118	12,719	102%	12,940	100%	234	50%	195	61%	11,976	11,335	106%
兵庫	キヌヒカリ	13,041	112	-	-	-	-	-	-	-	-	11,949	11,437	104%

相対取引価格・数量③（奈良から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年7月) ①	数量 27年産米 (28年7月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				27年産米 (28年7月) 〔出回り～〕	26年産米 (27年10月) 〔出回り～〕	対前年比 /
				27年産米 (28年6月)	対前月比 /	26年産米 (27年7月)	対前年比 /	27年産米 (28年6月)	対前月比 /	26年産米 (27年7月)	対前年比 /			
奈良	ヒノヒカリ	11,746	756	12,072	97%	10,841	108%	852	89%	649	116%	12,172	11,279	108%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,511	11,554	108%
鳥取	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,113	11,128	109%
鳥取	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,309	12,436	107%
鳥取	きぬむすめ	-	-	12,308	/	/	/	477	/	/	/	12,317	/	/
島根	コシヒカリ	14,697	209	14,001	105%	13,663	108%	663	32%	221	95%	13,575	12,342	110%
島根	きぬむすめ	12,572	136	12,271	102%	10,183	123%	604	23%	130	105%	12,504	10,950	114%
島根	ハナエチゼン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,888	10,433	114%
岡山	アケボノ	11,506	120	-	-	-	-	-	-	-	-	11,538	10,209	113%
岡山	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,882	11,340	105%
岡山	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,051	11,094	109%
広島	コシヒカリ	12,767	844	12,777	100%	12,156	105%	1,063	79%	791	107%	12,943	11,722	110%
広島	あきろまん	-	-	-	-	11,851	-	-	-	473	-	11,977	11,069	108%
広島	ヒノヒカリ	-	-	11,737	-	11,536	-	363	-	128	-	11,768	10,841	109%
山口	コシヒカリ	13,990	108	13,641	103%	-	-	1,135	10%	-	-	13,739	12,474	110%
山口	ひとめぼれ	-	-	12,510	-	11,507	-	710	-	239	-	12,675	11,271	112%
山口	ヒノヒカリ	-	-	12,708	-	-	-	963	-	-	-	12,727	11,540	110%
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,095	10,817	121%
徳島	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,561	10,027	115%
香川	ヒノヒカリ	12,258	789	12,277	100%	10,835	113%	941	84%	1,702	46%	12,329	10,943	113%
香川	コシヒカリ	13,324	789	13,314	100%	11,667	114%	709	111%	865	91%	13,359	11,895	112%
愛媛	コシヒカリ	12,339	229	-	-	-	-	-	-	-	-	12,535	11,601	108%
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,719	10,655	110%
愛媛	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,741	10,835	108%
高知	コシヒカリ	-	-	13,052	-	-	-	1,424	-	-	-	13,511	11,713	115%
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,630	11,466	110%
福岡	夢つくし	15,434	191	15,245	101%	13,970	110%	551	35%	1,390	14%	15,227	14,472	105%
福岡	ヒノヒカリ	13,090	453	13,689	96%	12,249	107%	1,099	41%	2,025	22%	13,486	12,546	107%
福岡	元気つくし	15,412	218	14,409	107%	/	/	1,347	16%	/	/	15,016	/	/
佐賀	夢しずく	12,919	801	12,796	101%	11,554	112%	790	101%	1,403	57%	12,971	11,937	109%
佐賀	さがびより	14,194	892	14,181	100%	12,480	114%	822	109%	506	176%	14,181	12,609	112%
佐賀	ヒノヒカリ	12,665	802	12,608	100%	11,198	113%	859	93%	345	232%	12,659	11,327	112%
長崎	にこまる	-	-	14,281	-	-	-	100	-	-	-	14,179	13,094	108%
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,857	12,959	107%
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,785	13,863	107%
熊本	ヒノヒカリ	13,611	944	13,720	99%	12,357	110%	675	140%	1,602	59%	13,557	12,365	110%
熊本	森のくまさん	14,260	153	14,190	100%	13,572	105%	389	39%	200	77%	14,295	12,835	111%
熊本	コシヒカリ	14,841	288	14,837	100%	13,489	110%	282	102%	425	68%	14,529	13,286	109%
大分	ヒノヒカリ	12,872	133	12,903	100%	-	-	536	25%	-	-	13,195	12,304	107%
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,406	12,390	108%
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,266	13,439	106%
宮崎	ヒノヒカリ	12,194	295	13,150	93%	12,152	100%	343	86%	254	116%	13,448	12,142	111%
鹿児島	ヒノヒカリ	14,545	203	14,455	101%	12,850	113%	232	88%	333	61%	14,214	12,586	113%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,414	13,225	109%
鹿児島	あきほなみ	14,817	127	15,482	96%	13,348	111%	166	77%	107	119%	14,794	13,380	111%
全銘柄平均価格、合計数量		13,204	68,450	13,265	100%	11,949	111%	84,472	81%	103,828	66%	13,174	11,967	110%

(4) スポット価格の状況

〔○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。〕

スポット価格①〔株式会社日本農産情報、日本コメ市場株式会社、株式会社クリスタルライス、株式会社加工用米取引センター〕

税抜価格

〔平成28年産〕

(1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成28年 7月	8月
茨城あきたこまち	日本農産情報		12,800
千葉ふさおとめ	日本農産情報		12,400
福井ハナエチゼン	日本農産情報		12,500
三重コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		13,300
徳島コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		13,200
高知コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報		13,300
宮崎コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報	13,600	
千葉ヒメノモチ	日本農産情報		12,800

〔平成27年産〕

(1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成27年				平成28年							
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北海道なつぼし	日本農産情報	12,400	12,100	12,100	12,100	12,500	12,500	12,600	13,200	13,200	13,400	13,400	13,400
	日本コメ市場(取引会)		12,406										
北海道ゆめぴりか	日本農産情報	13,900	13,800	13,800	13,600	13,900	14,000	14,500	15,800	16,000	16,000	15,900	15,900
北海道きらら397	日本コメ市場(随時)											12,400	
青森まっしろ	日本農産情報		11,300	11,200	11,000	11,400	11,600	11,800	12,300	12,800	12,100	12,200	12,200
	日本農産情報		11,400	11,400	11,200	11,600	12,000	12,000	12,500	13,000	12,400	12,400	12,400
	日本コメ市場(随時)				11,400	11,638	11,623	11,883				12,462	
岩手つがるロマン	日本コメ市場(取引会)											12,700	
	日本農産情報		11,300	11,600	11,600	12,000	12,000	12,300	12,800	13,700	12,600	12,600	12,600
岩手ひとめぼれ	日本コメ市場(随時)						12,446	12,648	13,241				
	日本農産情報		11,200	11,400	11,400	11,700	11,900	12,400	12,900	13,800	13,400	12,500	12,500
宮城ひとめぼれ	日本農産情報		11,700	11,900	11,900	12,300	12,300	12,500	13,500	14,000	13,700	13,600	13,600
	日本コメ市場(随時)			12,196						14,337			
秋田あきたこまち	日本農産情報	11,600	11,700	11,700	11,700	12,100	12,100	12,600	13,700	14,200	13,700	13,500	13,500
	日本コメ市場(随時)	11,724	11,722		12,000	12,046	12,255	12,768	13,960	14,425	14,240	13,335	13,483
	日本コメ市場(取引会)		11,732			12,048		12,455	14,070			13,352	
山形はえぬき	日本農産情報	11,000	11,300	11,500	11,800	12,000	12,300	12,600	13,300	14,000	13,200	13,000	13,200
	日本農産情報		11,600	11,600	11,700	11,800	12,000	11,900	12,400	12,800	12,300	12,000	12,300
福島中通コシヒカリ	日本コメ市場(随時)		11,429			12,053	12,000	12,064	12,640	12,771			12,322
	日本コメ市場(取引会)											12,169	
福島中通ひとめぼれ	日本農産情報	10,600	11,000	11,300	11,300	11,600	11,800	11,900	12,400	13,000	12,500	12,300	12,300
	日本コメ市場(取引会)			11,503					12,688				
茨城コシヒカリ	日本農産情報	11,400	11,600	11,600	11,600	12,000	12,100	12,100	12,600	12,900	12,200	12,200	12,200
	日本コメ市場(随時)	11,463	11,661	11,800	11,938			12,299	12,172	12,733	12,958		12,419
	日本コメ市場(取引会)		11,766	11,650		11,917		12,135	12,593				
茨城あきたこまち	日本農産情報	10,800	11,100	11,100	11,100	11,700	11,700	11,900	12,600	13,700	13,200	12,600	
	日本コメ市場(取引会)												
栃木コシヒカリ	日本コメ市場(随時)			11,700	11,700			12,253	12,215	12,516	13,100		
	日本コメ市場(取引会)											12,209	
栃木あさひの夢	日本農産情報	10,300	10,800	10,900	10,800	11,200	11,600	11,600	12,400	12,800	12,200	11,900	11,900
	日本コメ市場(取引会)			11,200		11,214							
埼玉彩のかがやき	日本農産情報		11,000	11,000	11,000	11,500	11,800	11,800	12,600	12,800			
千葉コシヒカリ	日本農産情報												
千葉ふさこがね	日本農産情報												
千葉ふさおとめ	日本農産情報	10,500	10,900	11,100	11,100	11,400	11,700	11,900	12,300	12,800	12,500	12,400	
	日本コメ市場(取引会)		10,851										
千葉あきたこまち	日本農産情報			11,500		11,581		12,152					
	日本コメ市場(取引会)												
新潟コシヒカリ(一般)	日本農産情報	14,600	14,700	15,100	15,100	15,400	15,400	15,500	15,500	15,500	15,100	14,600	14,100
	日本コメ市場(随時)			15,371	15,551		15,548	15,654	15,465	15,537			
	日本コメ市場(取引会)		14,971	15,363		15,479		15,568	15,466			14,760	
新潟コシヒカリ(魚沼)	日本農産情報		19,600	20,300	21,800	23,500	23,500	24,500	24,500	24,000	18,800	18,500	
新潟こしいぶき	日本農産情報	11,300	11,800	11,800	11,800	12,200	12,700	12,700	13,300	13,800	13,800	13,500	13,500
富山コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報	13,300	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,700	13,700	13,500	13,400	12,800	12,800
福井ハナエチゼン	日本農産情報												
三重コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報												
三重あきたこまち(近畿着)	日本農産情報												
鳥根ハナエチゼン(近畿着)	加工用米取引C												
徳島コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報												
宮崎コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報												
鹿児島コシヒカリ(近畿着)	日本農産情報												
山形ヒメノモチ	日本農産情報	15,000	15,000	15,200	15,200	15,200	15,100	13,500	13,500	13,000	13,000	13,000	
千葉ヒメノモチ	日本農産情報	14,700	14,700	14,700	14,500	14,500	13,700	13,500	13,200	12,500	12,500	12,500	

出典：株式会社日本農産情報HP、日本コメ市場株式会社HP、株式会社加工用米取引センターHP

- 注：1 日本農産情報の価格は、特にことわりのない場合は1口10㌔以上の取引で、東京着値基準、1等、中卸価格。
 2 日本コメ市場(随時)の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分)。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。
 3 日本コメ市場(取引会)の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。
 4 加工用米取引センターの価格は、着地持込価格であり、包装代を含む価格。特に記載のない場合は、1等。

2 米の先物取引価格の推移

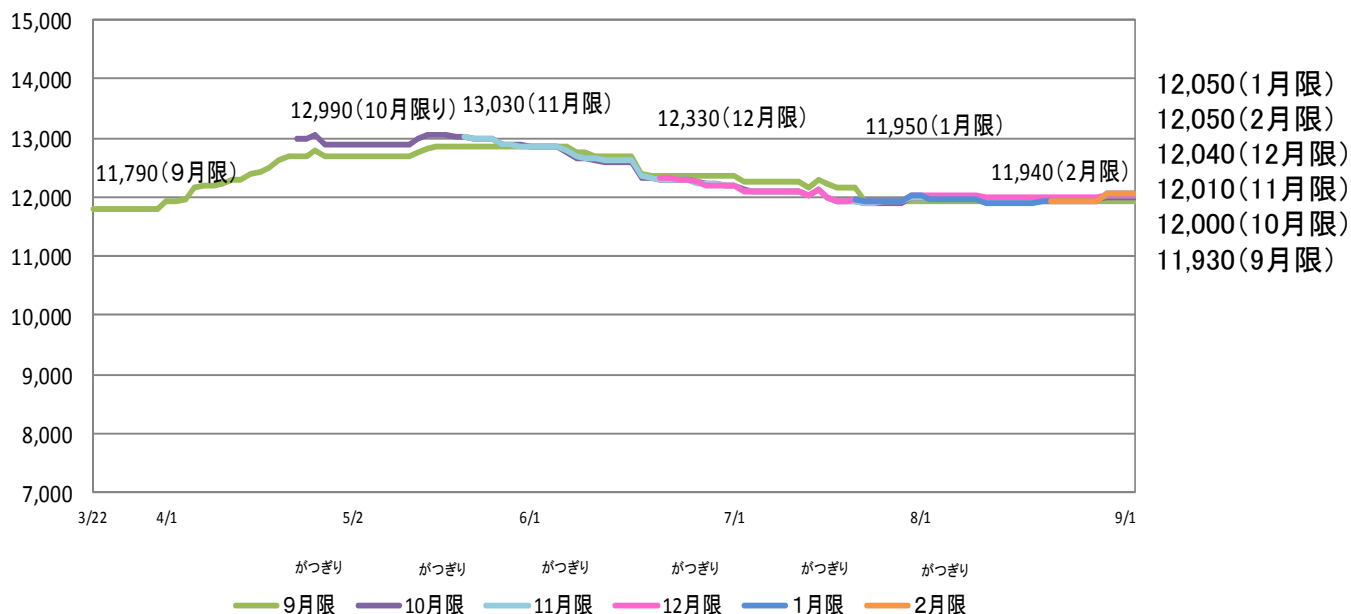
- 米の先物取引価格(9月2日)は、先月(8月3日)に比べ終値で、東京コメが±0円/60kg(9月限)~+100円/60kg(1月限)、大阪コメが±0円/60kg(1月限)~+400円/60kg(9月限)。

税抜価格

①東京コメ

(単位:円/60kg、包装代込、税抜)

※10月限より新穀(平成28年産)



出典:大阪堂島商品取引所

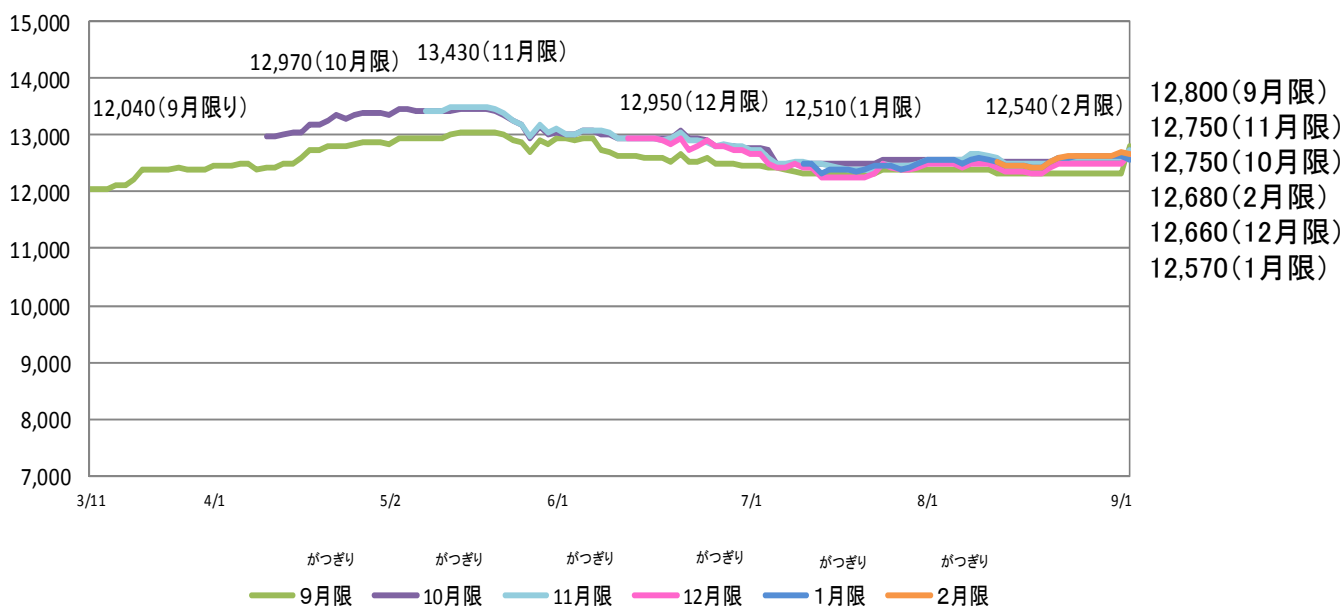
注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

税抜価格

②大阪コメ

(単位:円/60kg、包装代込、税抜)

※10月限より新穀(平成28年産)



出典:大阪堂島商品取引所

注:取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

Ⅵ 主食用米以外（輸出を含む）

1 27年産米の作付状況

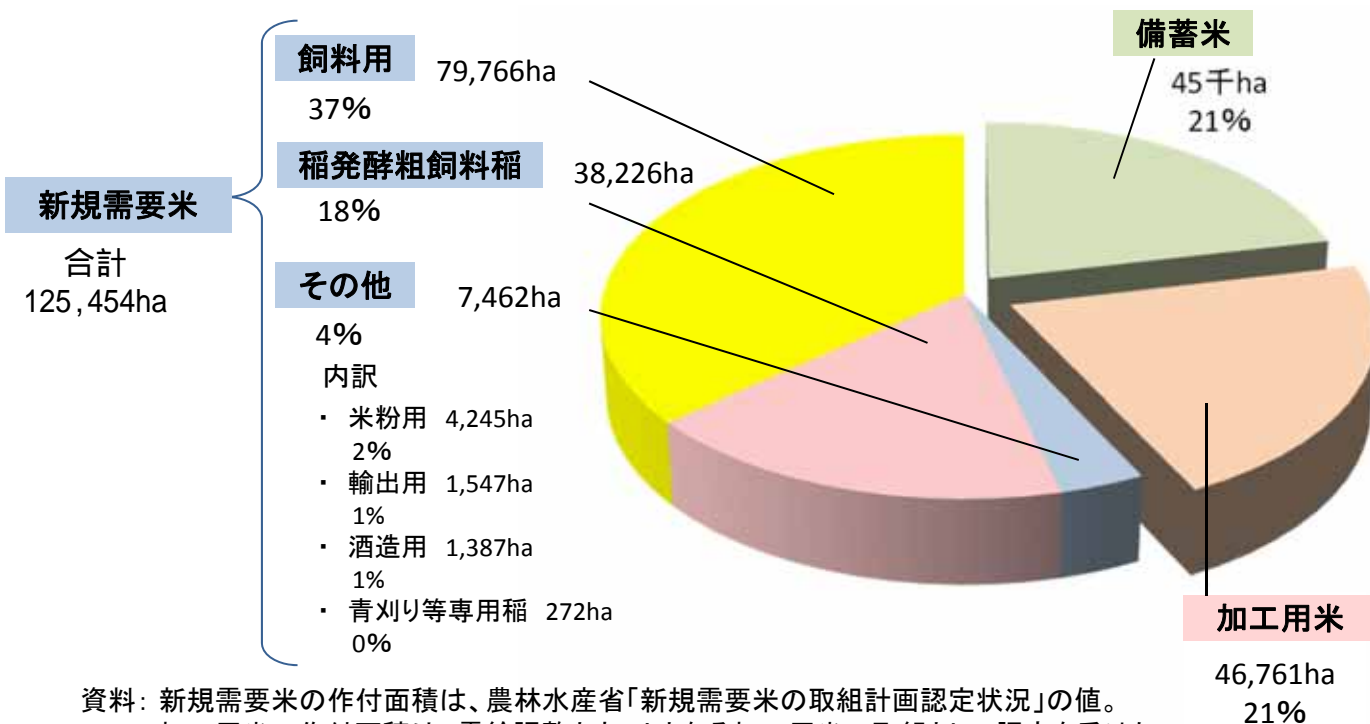
- 平成27年産米の作付面積は、主食用米が141万ha、主食用米以外が約22万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米12.5万ha、加工用米4.7万ha、備蓄米4.5万ha。

(1) 27年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積 (万ha)	162.7	141	12.5	4.7	4.5
生産量 (万トン)		744	46	26	25

※WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない

(2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：新規需要米の作付面積は、農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」の値。
加工用米の作付面積は、需給調整カウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの27年度報告値。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年9月15日現在の値。

注2：「醸造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

(3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米(27年産)							
	合計	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稲	青刈り等専用稲	その他
作付面積 (ha)	125,454	79,766	4,245	1,547	1,387	38,226	272	11
計画生産量 (ト)	459,596	421,077	22,925	8,482	7,096			15

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された醸造用玄米を指す。

2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の年間使用量は近年95万トン程度（推計）で推移。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別の使用量は、日本酒用が最も多く、次いであられ、せんべいの米菓用、和菓子等の原料となる米穀粉用となっている。

平成26米穀年度（平成25年11月～26年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

〈うるち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	11 (8)	9		4			24 (8)
米菓用	1	1		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	5					10
味噌用		1		3	6		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		6	3		9
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1			2	1		4
合計	18	18	3	21	14	3	77

〈もち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	7
米菓用	2	1			1	2	6
米穀粉用	1					1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						2	2
合計	7	3		1	2	7	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約7万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）、米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用

その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「農産物検査結果」（農林水産省）

加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

3 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、約120万トン。
 - ① 全農グループ飼料会社：年間約56万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米含まない数量）
 - ② (協)日本飼料工業会組合員工場：年間約61万トン（MA米・備蓄米を含まない数量）
 - ③ 全国酪農農業協同組合連合会の年間使用可能数量は、約1万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
 - ④ 日本養鶏連の年間使用量は、約3万トン（MA米、備蓄米を含む数量）
 - ⑤ 畜産農家の新規需要量：112件、約3万トン（平成28年6月30日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成27年12月現在）

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	J A全農北日本くみあい飼料
関東	146	J A東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	J A東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	J A西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	817	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先: JA全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL: 03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量（平成27年11月調査）

地区	需要量 (千トン: 単年度)	(参考) 中長期需要量注2 (千トン: 単年度)
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
合計	608	1,964

注1) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量。

注2) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。(平成26年3月調査)

注3) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先: 「飼料用米ダイヤル」TEL: 03-3583-8031 E-mail: Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（平成28年5月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン)	備考
北海道	8.4	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀と新規需要米併用
関東	0.8	政府所有米穀と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀と新規需要米併用
九州	0.0	原料タンクの調整が必要
合計	12.6	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 全国酪農農業協同組合連合会 購買部飼料製造課 TEL: 03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可数量（平成28年4月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン: 単年度)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.2	
近畿・中国	4.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	19.5	*一部、粳米不可
合計	26.7	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。

※輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量

※四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先: 日本養鶏連 事業部 TEL: 03-5296-7041

⑤ 畜産農家の28年産飼料用米の新規需要量（平成28年6月30日現在）

都道府県	新規需要量		確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
北海道	3	1,002	1	1,000
宮城県	1	2,400	1	2,400
茨城県	7	226	3	80
群馬県	8	999	2	23
埼玉県	1	120		
千葉県	4	1,370	0	580
山梨県	14	431	4	69
長野県	9	278	8	256
静岡県	6	905		
愛知県	10	1,709	8	1,355
京都府	1	60		
大阪府	1	5		
兵庫県	10	1,851		
奈良県	5	1,610	2	380
和歌山県	1	50		
島根県	1	400	1	400
広島県	2	9		
徳島県	2	2,005	1	0
香川県	4	100		
福岡県	1	1,200	0	900
佐賀県	5	3,010		
長崎県	10	1,740	0	30
大分県	3	2,125	2	1,625
宮崎県	2	1,964	1	1,748
鹿児島県	1	1,800		
合計	112	27,369	34	10,846

※供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）

※追加の希望があれば随時更新

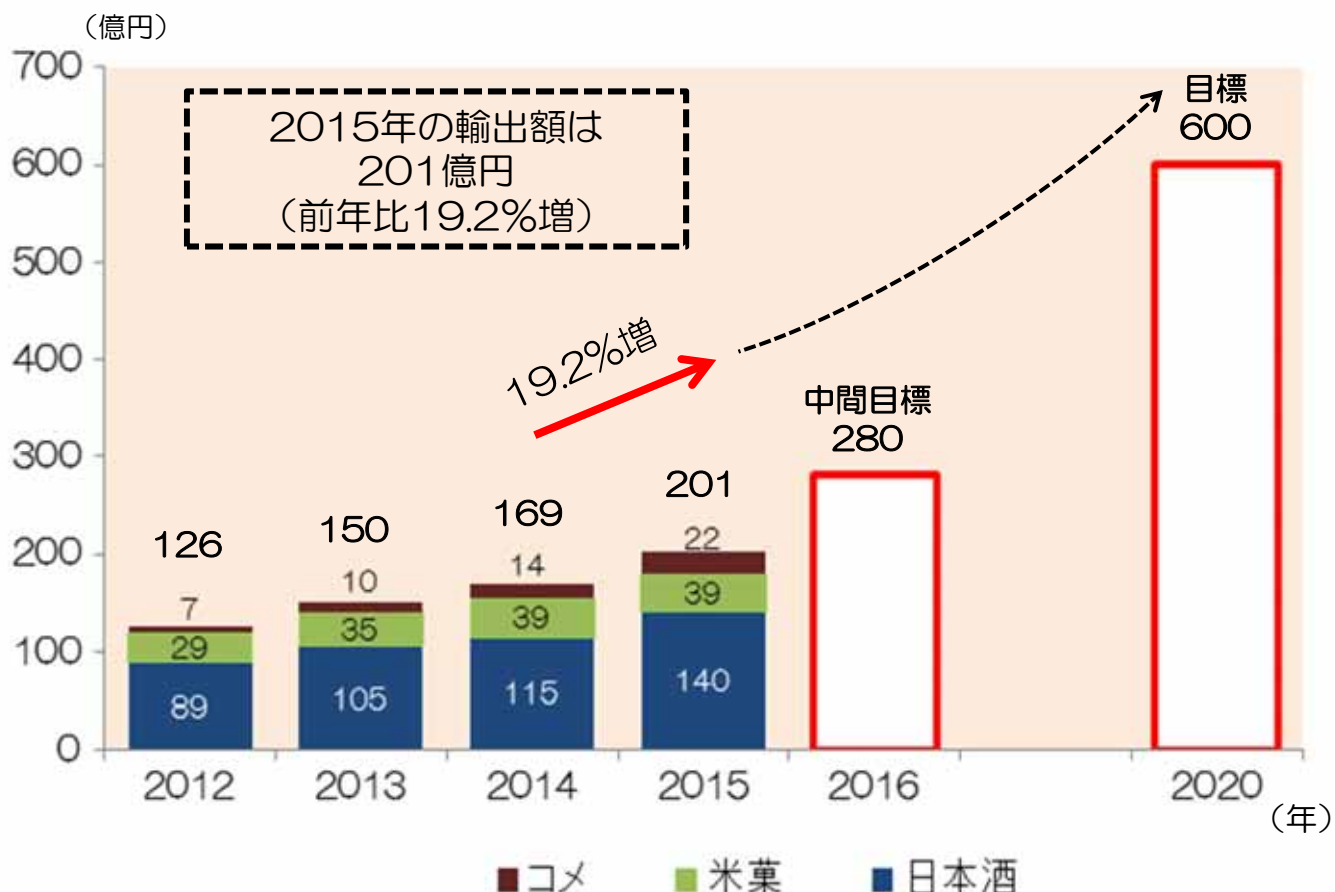
※確保済みの件数については、一部確保済みの場合も含む

※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

4 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることとし、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2015年の輸出額は、201億円（前年比19.2%増）。

コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2012年	14,131	8,946	3,123	2,902	2,202	726
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を、平成32年までに600億円とすることとしている。

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール



【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港



輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

日本産米輸出の統一ロゴマーク



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

Ⅶ 支援事業等

(1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

水田活用の直接支払交付金(1)

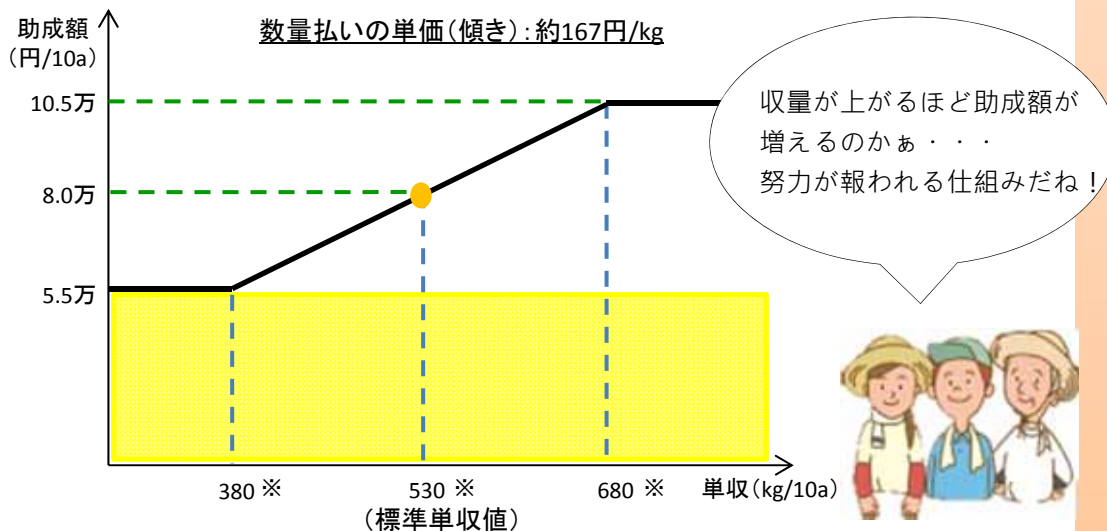
【平成28年度予算額:3,078(2,770)億円(所要額)】

(1) 支援内容

① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

<飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることを条件とします。
- ※は全国平均の平年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。

水田活用の直接支払交付金(2)

② 二毛作助成

- 水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付パターン(例)	交付金額(10a当たり)
主食用米 + 麦	(米の直接支払) + <u>1.5万円</u>
麦 + 大豆	3.5万円 + <u>1.5万円</u>
飼料用米 + 麦	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>
米粉用米 + 飼料用米	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>



③ 耕畜連携助成

- 耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

④ 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米 米粉用米	多収品種への取組	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組	12,000円/10a
備蓄米	平成28年産政府備蓄米の買入入札における落札 ※平成23年度に県別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組	20,000円/10a(基幹作) 15,000円/10a(二毛作)

なお、主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して追加配分(5,000円/10a)します。

水田活用の直接支払交付金の支払面積等(1)

- 支払対象者数は47万8千件で、平成26年度の支払実績と比べて1万8千件減少。
- 支払面積は、戦略作物全体では55万5千haと、平成26年度に比べて6万4千ha増加。
- 作物別には、
 - (ア) 麦は、全国的に作付けがやや増加し、3千ha増の17万1千ha
 - (イ) 大豆は、全国的に作付けが増加し、7千ha増の11万3千ha
 - (ウ) 飼料作物は、北海道、東北、九州地方を中心に作付けがやや増加、1千ha増の10万3千ha。
 - (エ) 新規需要米（WCS用稲、米粉用米、飼料用米）は、主食用米からの転換が全国的に進み、三品目全てで作付けが増加、5万4千ha増の12万2千ha。
 - (オ) 加工用米は、2千ha減の4万6千ha。

(1) 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

	支払対象者数 (件)	支払対象者数		
		個人	法人	集落営農
平成27年度	478,293	461,858	9,931	6,504
平成26年度	496,286	480,885	8,960	6,441
対前年度比較	▲ 17,993	▲ 19,027	+ 971	+ 63

(2) 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積、支払数量

① 基幹作物＋二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)		
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね	備蓄米
平成27年度	170,590	113,016	103,234	121,533	37,860	4,206	79,467	46,157	554,529	34,125	585	43,771
平成26年度	167,451	105,690	101,736	67,926	30,669	3,372	33,885	48,051	490,855	34,735	497	43,876
対前年度比較	+ 3,139	+ 7,326	+ 1,497	+ 53,606	+ 7,190	+ 833	+ 45,582	▲ 1,894	+ 63,674	▲ 610	+ 88	▲ 104

② 基幹作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	98,950	85,805	72,176	121,528	37,860	4,206	79,462	44,098	422,556	25,019	471
平成26年度	97,605	80,231	72,054	67,925	30,669	3,371	33,885	45,996	363,810	25,899	363
対前年度比較	+ 1,345	+ 5,574	+ 123	+ 53,602	+ 7,190	+ 835	+ 45,577	▲ 1,898	+ 58,746	▲ 879	+ 108

③ 二毛作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	新規需要米			加工用米	合計	(参考)	
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね
平成27年度	71,640	27,211	31,057	5	-	-	5	2,059	131,973	9,106	114
平成26年度	69,846	25,460	29,683	1	-	1	-	2,055	127,045	8,836	134
対前年度比較	+ 1,794	+ 1,751	+ 1,375	+ 4	-	▲ 1	+ 5	+ 4	+ 4,928	+ 269	▲ 20

水田活用の直接支払交付金の支払面積等(2)

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
 - (ア) 米粉用米では、4千ha（1千ha増）、2万3千トン（5千トン増）539kg/10a。
 - (イ) 飼料用米では、7万8千ha（4万5千ha増）、43万2千トン（25万トン増）、555kg/10a。

(3) 米粉用米、飼料用米(数量払い分)

	米粉用米			飼料用米		
	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)	面積(ha)	数量(t)	単収(kg/10a)
平成27年度	4,180	22,519	539	77,731	431,696	555
平成26年度	3,336	18,014	540	32,790	181,769	554
対前年度比較	+ 844	+ 4,505	▲ 1	+ 44,942	+ 249,927	+ 1

注) 飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」/「面積」により算定。数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

(4) 耕畜連携助成

(単位: ha)

	飼料用米 のわら 利用	水田放牧	資源循環 の取組	合計
平成27年度	19,866	1,299	25,636	46,800
平成26年度	9,776	1,271	20,944	31,992
対前年度比較	+ 10,090	+ 28	+ 4,692	+ 14,808

- 支払対象者数は82万件で、平成26年度に比べて5万8千件減少。
- 支払面積は95万3千ha（10a控除前：103万9千ha）で、平成26年度に比べて4万3千ha減少。

(5) 米の直接支払交付金の支払対象者数、支払面積

	支払対象者数 (件)				支払面積 (ha)	(参考)
		個人	法人	集落営農		支払面積 10a控除前 (ha)
平成27年度	820,373	808,023	7,806	4,544	953,064	1,039,251
平成26年度	877,996	866,303	7,048	4,645	996,210	1,089,278
対前年度比較	▲ 57,623	▲ 58,280	+ 758	▲ 101	▲ 43,146	▲ 50,027

(2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

【平成28年度予算額：754(802)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

(1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

(2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
 ※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

【10a当たり当年産収入額とは】

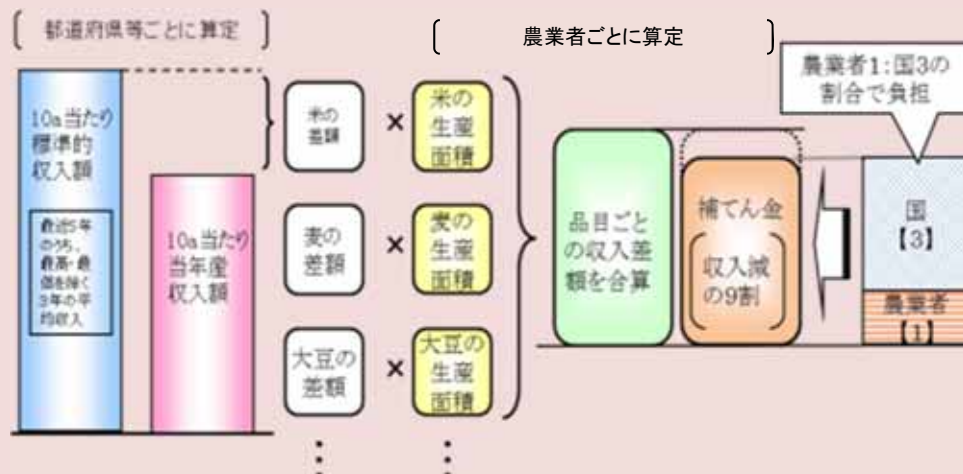
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

(3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



(参考) 平成26年産ナラシ対策の支払い実績 (平成27年7月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※	(参考2) ※	
				米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	69,741	58,375	516.42	22,157	221	
北 海 道	18,830	11,495	84.93	10,836	108	
東 北	青 森 県	2,060	1,984	21.16	22,652	226
	岩 手 県	2,003	1,945	23.36	20,533	205
	宮 城 県	2,689	2,407	24.37	20,376	203
	秋 田 県	6,177	6,044	60.49	23,535	235
	山 形 県	5,177	5,098	37.24	19,159	191
	福 島 県	2,041	1,999	18.73	22,179	221
関 東	茨 城 県	1,509	1,402	11.24	21,708	217
	栃 木 県	2,956	2,882	27.10	22,355	223
	群 馬 県	478	465	5.45	19,126	191
	埼 玉 県	377	335	3.18	19,852	198
	千 葉 県	175	164	2.04	21,645	216
	東 京 都	—	—	—	17,297	172
	神 奈 川 県	67	67	0.13	20,910	209
	山 梨 県	47	42	0.21	19,188	191
	長 野 県	605	568	10.89	25,819	258
	静 岡 県	151	149	2.40	19,932	199
北 陸	新 潟 県	9,028	8,662	54.23	14,538	145
	富 山 県	1,280	1,126	25.74	23,420	234
	石 川 県	1,145	1,068	14.35	22,075	220
	福 井 県	882	762	10.53	21,854	218
東 海	岐 阜 県	468	395	6.75	20,271	202
	愛 知 県	360	158	1.61	18,436	184
	三 重 県	585	409	4.19	20,921	209
近 畿	滋 賀 県	1,357	1,149	13.05	21,685	216
	京 都 府	178	164	1.09	20,279	202
	大 阪 府	6	5	0.01	20,836	208
	兵 庫 県	682	676	1.89	19,599	195
	奈 良 県	11	10	0.02	21,447	214
	和 歌 山 県	4	4	0.00	20,694	206
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	156	134	1.92	20,744	207
	島 根 県	441	436	5.26	21,315	213
	岡 山 県	304	289	2.87	20,591	205
	広 島 県	311	303	4.46	21,021	210
	山 口 県	657	529	3.87	20,097	200
	徳 島 県	32	30	0.22	19,249	192
	香 川 県	319	278	3.75	20,176	201
	愛 媛 県	290	263	1.46	19,818	198
	高 知 県	70	65	0.38	19,686	196
	九 州	福 岡 県	1,069	488	2.51	15,853
佐 賀 県		1,092	872	11.98	21,176	211
長 崎 県		173	106	0.57	17,114	171
熊 本 県		861	718	3.26	20,128	201
大 分 県		919	670	2.40	19,842	198
宮 崎 県		1,290	1,154	2.59	21,657	216
鹿 児 島 県	411	388	2.50	20,390	203	
沖 縄 県	18	18	0.05	11,807	118	

(注1) 加入件数は、平成26年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

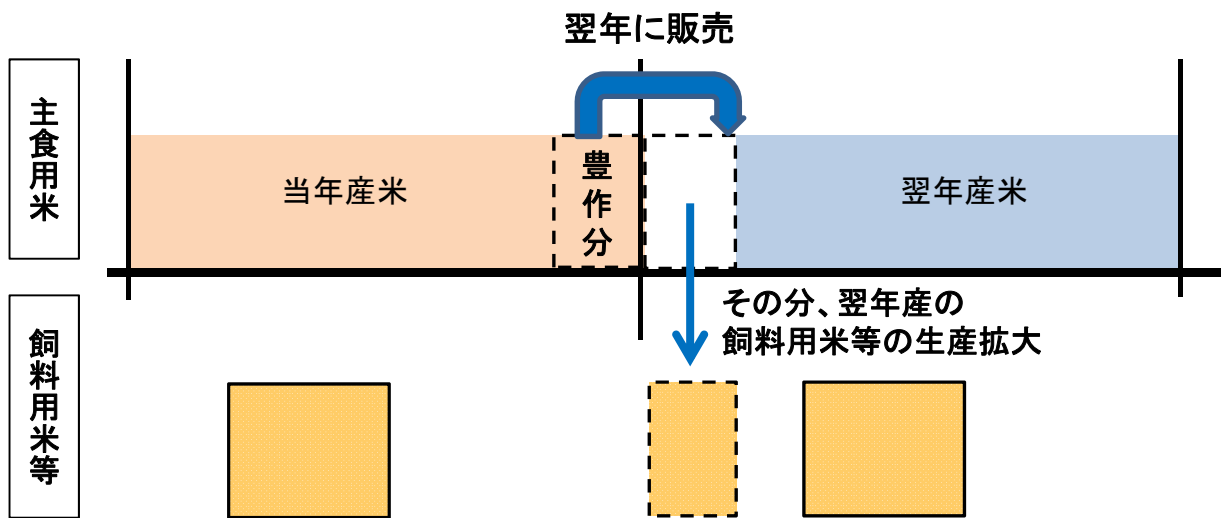
(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

(3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

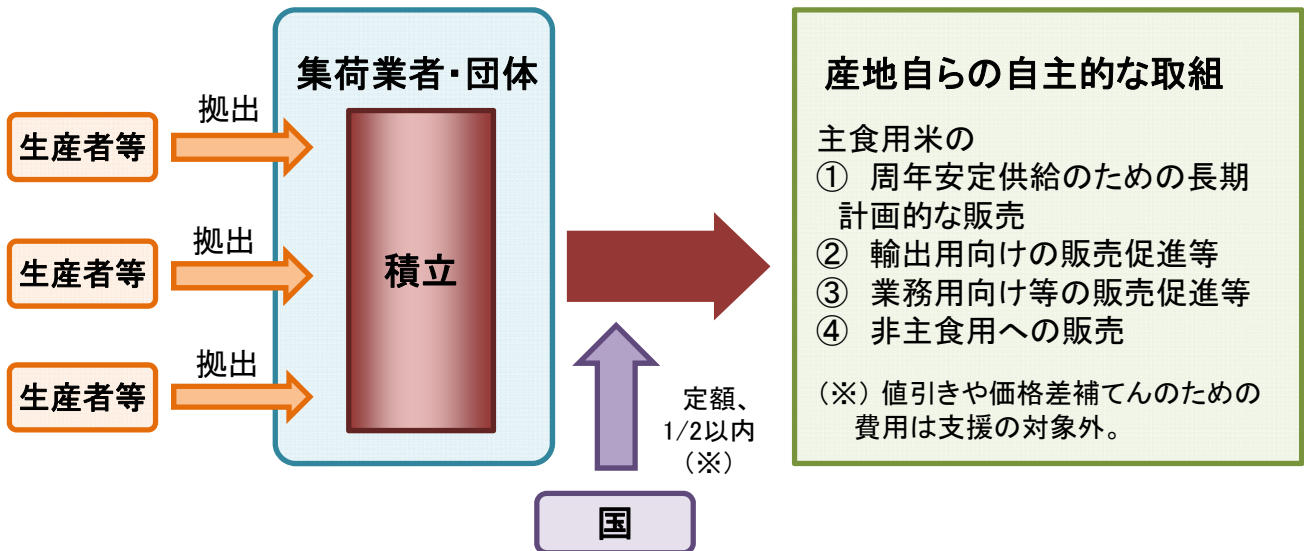
① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：28年度予算額 50億円（対前年同額））
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。
（水田活用の直接支払交付金：28年度予算額 3,078億円（対前年+307億円））



② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

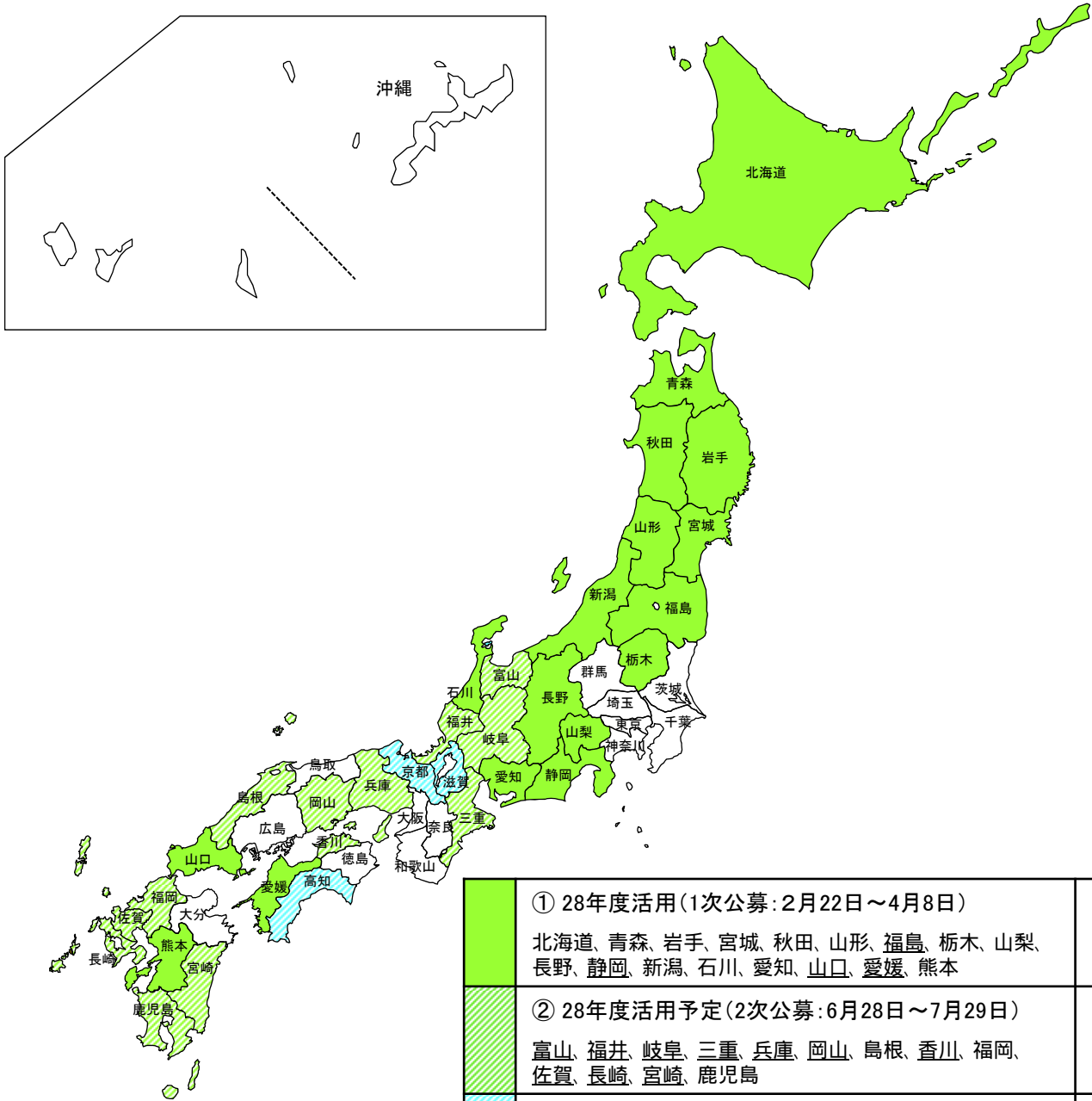
- 「米穀周年供給・需要拡大支援事業」は、産地の判断により、あらかじめ生産者等が資金を積立てる体制を構築して、以下の4つの取組を実施する場合に、国が一定の支援。



③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業活用意向（平成28年6月末（1次公募後）時点）

米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用状況は、

- 平成27年度では、17道県、18事業者が活用。
- 平成28年度では、1次公募で17道県、19事業者が活用。現在実施している2次公募に対して13県が申請予定。



	① 28年度活用(1次公募:2月22日~4月8日) 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、愛知、山口、愛媛、熊本	17 道県
	② 28年度活用予定(2次公募:6月28日~7月29日) 富山、福井、岐阜、三重、兵庫、岡山、島根、香川、福岡、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島	13 県
	③ 生産者等積立の体制整備実施・予定 滋賀、京都、高知	3 府県
合 計 (①+②+③)		33道府県

(参考)27年度活用 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、栃木、千葉、山梨、長野、新潟、石川、愛知、島根、福岡、熊本、鹿児島	17 道県
--	-------

注1) 事業活用意向については、経済連・県本部等の事務担当者からのヒアリング結果である。

注2) 下線を付した産地は28年度新規申請(予定を含む。)産地である。

VIII 消費動向

(1) 米の消費動向（米穀機構による調査）

〔○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。〕

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」（平成28年7月）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で+6.1%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で+3.4%、中・外食は同+12.1%。

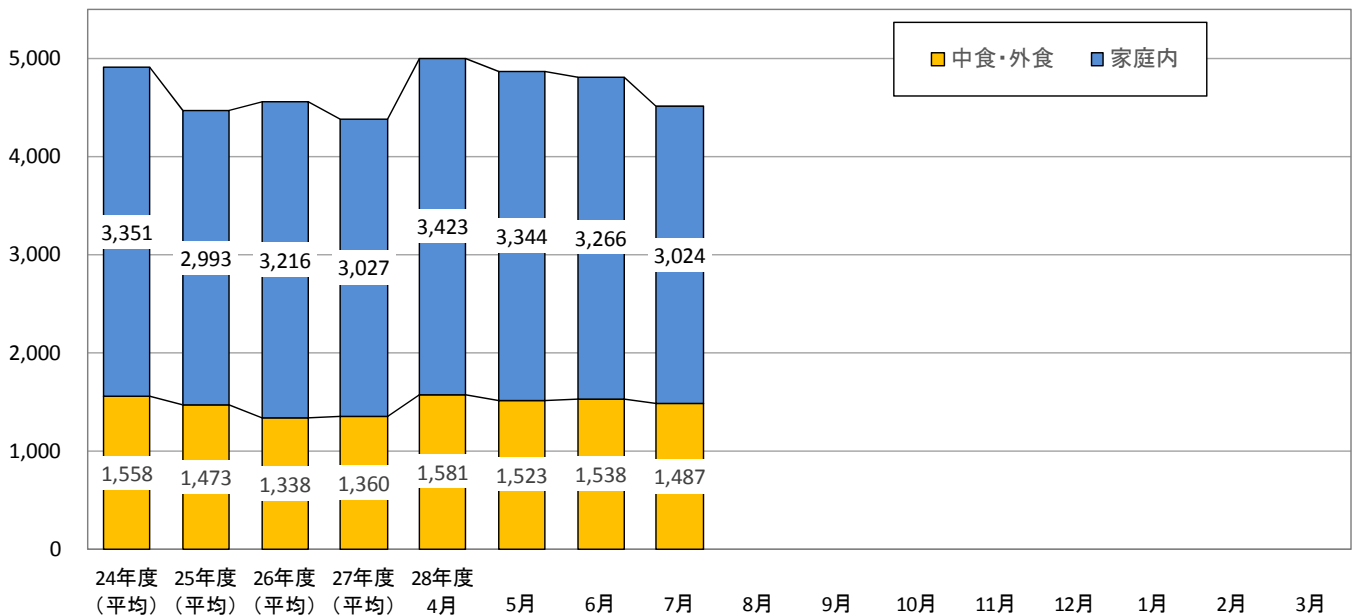
① 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

(精米g/人、%)

		精米消費量					内訳(比率)					前年同月比(比率)				
		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
			中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食					
													中食	外食	中食	外食
24年度	-	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲ 4.4	▲ 3.1	▲ 6.1
25年度	-	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲ 9.0	▲ 10.7	▲ 5.5	▲ 6.0	▲ 4.7
26年度	-	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲ 9.2	▲ 10.4	▲ 7.5
27年度	-	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲ 3.7	▲ 5.9	1.6	4.6	▲ 2.2
28年度	4月	5,004	3,423	1,581	948	633	100.0	68.4	31.6	18.9	12.6	2.6	2.1	3.6	4.4	2.4
	5月	4,868	3,344	1,523	915	608	100.0	68.7	31.3	18.8	12.5	5.5	7.9	0.7	▲ 1.5	3.9
	6月	4,805	3,266	1,538	920	618	100.0	68.0	32.0	19.1	12.9	6.4	5.2	9.0	7.7	11.0
	7月	4,511	3,024	1,487	872	615	100.0	67.0	33.0	19.3	13.6	6.1	3.4	12.1	11.9	12.2

1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(グラフ)

(精米g/人)



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 28年7月分の有効調査世帯数は1,759世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

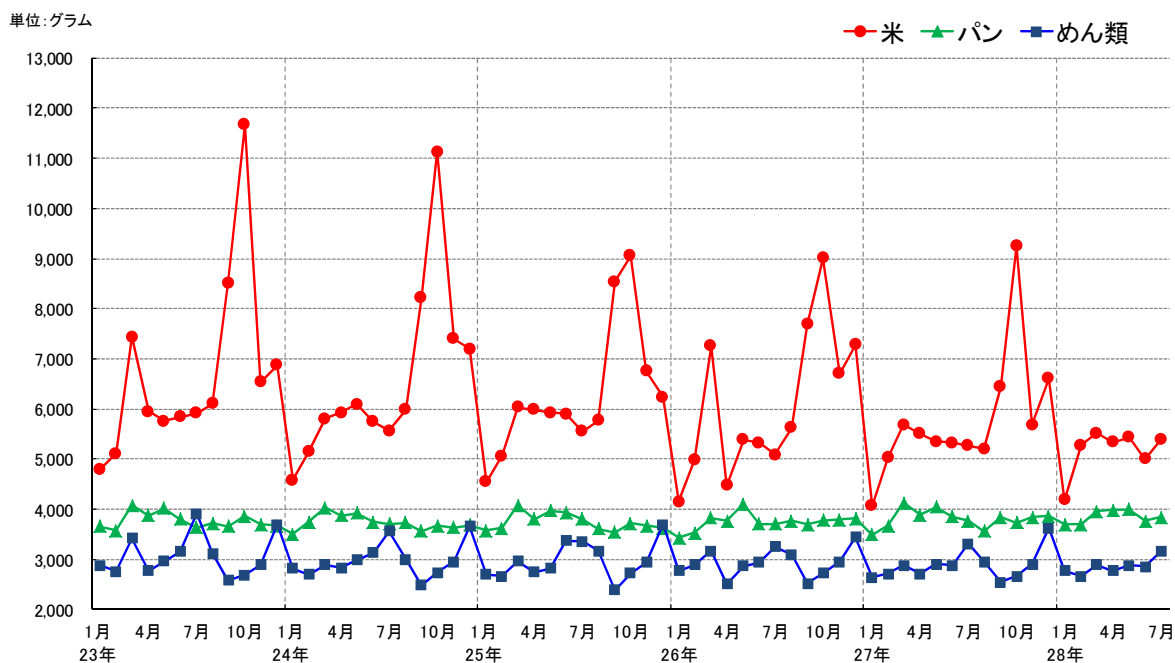
3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

(2) 購入数量の推移(家計調査)

- 総務省が公表している家計調査によると、平成28年7月の米の購入数量は、前年同月との比較で+2.5%の5.4kg、パンについては+1.9%の3.8kg、めん類については▲4.8%の3.2kg。

1世帯当たり購入数量の推移



(表) 1世帯当たり購入数量の推移

(単位：グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
平成28年1月	4,180	103.0%	3,693	105.7%	2,771	105.0%
2月	5,280	105.0%	3,694	100.7%	2,661	98.2%
3月	5,520	97.0%	3,961	96.1%	2,886	100.2%
4月	5,340	97.1%	3,978	102.5%	2,776	102.3%
5月	5,430	101.5%	3,991	98.8%	2,884	99.3%
6月	5,000	94.0%	3,767	97.9%	2,860	99.5%
7月	5,390	102.5%	3,833	101.9%	3,153	95.2%

資料：総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

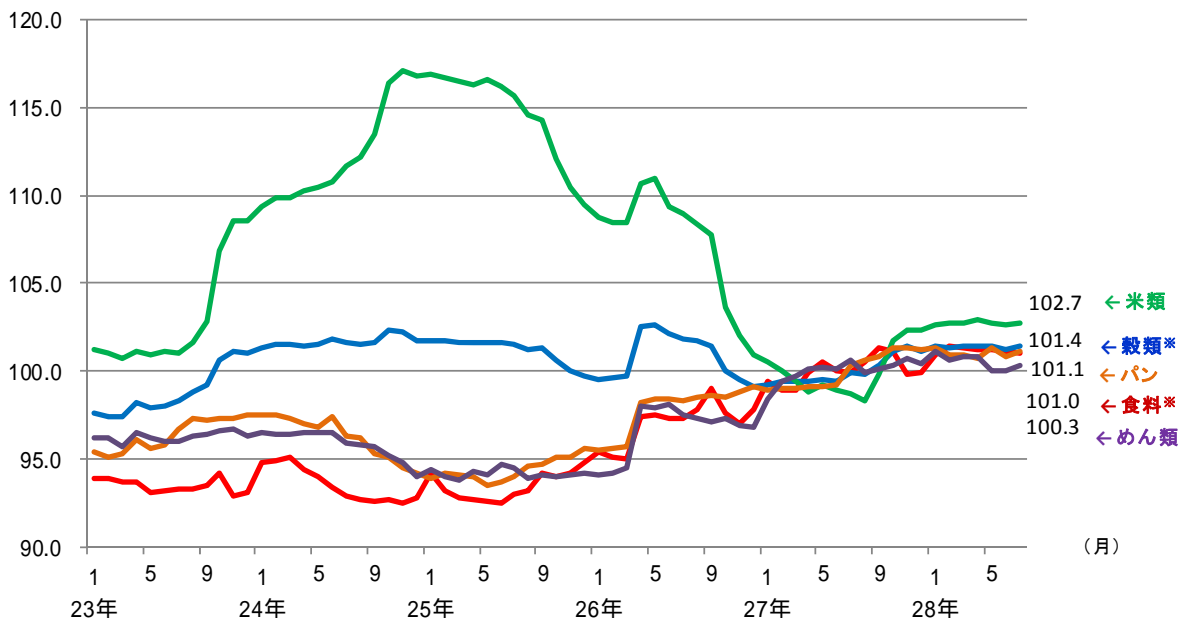
2 平成20年から平成27年については、年間の購入数量を示す。

3 米は精米ベースである。

(3) 消費者物価指数（27年基準）の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成28年7月の米類の指数は、先月と+0.1の102.7ポイント。
- なお、前年同月との比較では+4.1ポイント。

消費者物価指数の推移



- 注：1 図中の実線は、平成27年の平均価格を100とした数値となる。
 2 図中の数値は、平成28年7月の消費者物価指数となる。
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移（対前年同月比）

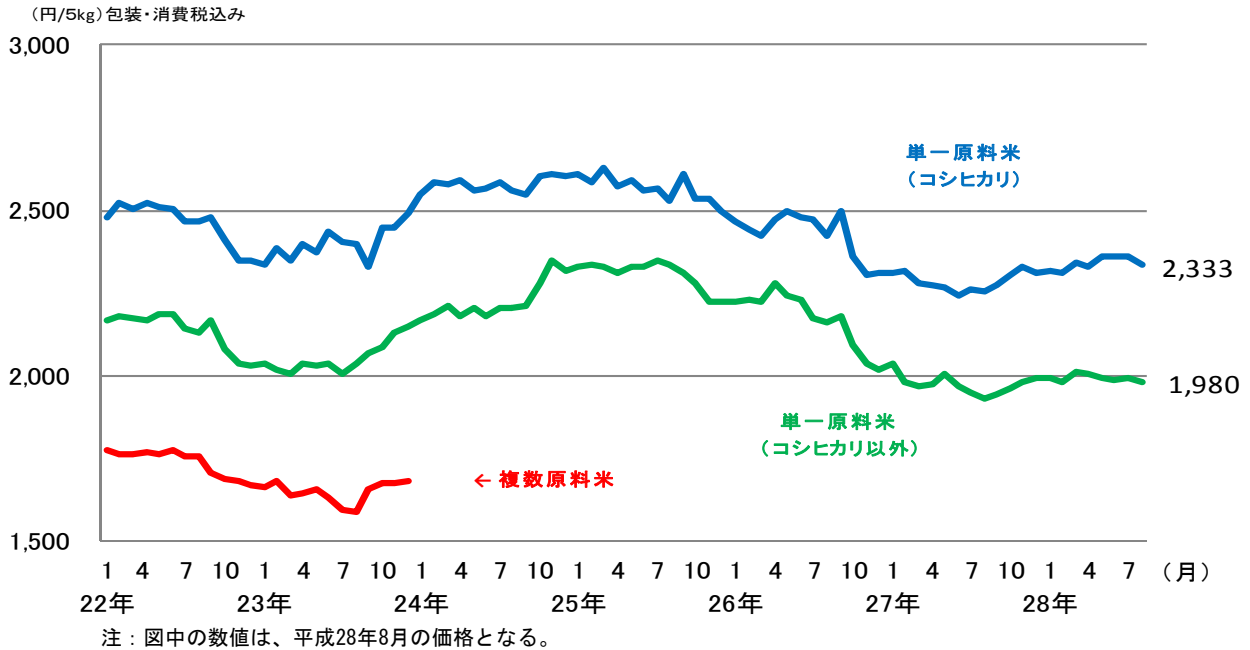
	食料		穀類		米類		うち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成17年	90.9	▲0.9%	98.9	▲6.6%	117.7	▲13.3%	118.3	▲12.9%	88.1	▲1.1%	88.5	▲0.8%
平成18年	91.3	0.5%	97.2	▲1.7%	114.1	▲3.1%	114.7	▲3.0%	88.0	▲0.1%	87.4	▲1.2%
平成19年	91.6	0.3%	96.7	▲0.5%	112.1	▲1.8%	112.8	▲1.6%	88.6	0.7%	87.0	▲0.5%
平成20年	93.9	2.6%	102.9	6.4%	110.7	▲1.3%	111.4	▲1.3%	99.8	12.6%	97.2	11.7%
平成21年	94.1	0.2%	103.7	0.8%	111.1	0.4%	111.6	0.2%	100.1	0.3%	98.8	1.7%
平成22年	93.9	▲0.3%	100.4	▲3.2%	107.2	▲3.5%	107.7	▲3.5%	96.2	▲3.9%	97.0	▲1.9%
平成23年	93.5	▲0.4%	98.8	▲1.6%	103.0	▲4.0%	103.4	▲4.0%	96.4	0.2%	96.2	▲0.8%
平成24年	93.6	0.1%	101.7	3.0%	112.4	9.2%	113.3	9.6%	96.3	▲0.1%	95.8	▲0.4%
平成25年	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
平成26年	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
平成27年	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
平成28年1月	100.9	1.5%	101.4	2.2%	102.6	2.1%	102.7	2.1%	101.3	2.4%	101.1	2.7%
2月	101.4	2.5%	101.3	1.9%	102.7	2.7%	102.7	2.7%	100.9	1.9%	100.6	1.2%
3月	101.3	2.4%	101.4	2.0%	102.7	3.3%	102.8	3.4%	100.9	1.9%	100.8	1.1%
4月	101.2	1.3%	101.4	2.0%	102.9	4.1%	102.9	4.3%	100.7	1.6%	100.8	0.7%
5月	101.2	0.7%	101.4	1.9%	102.7	3.5%	102.7	3.5%	101.3	2.2%	100.0	▲0.2%
6月	101.1	1.1%	101.2	1.8%	102.6	3.7%	102.7	3.9%	100.8	1.6%	100.0	▲0.1%
7月	101.0	1.1%	101.4	1.5%	102.7	4.1%	102.8	4.3%	101.1	0.8%	100.3	▲0.3%

- 資料： 総務省「消費者物価指数」（平成27年基準）
 注：1 表中の数値は、平成27年の平均価格を100として指数化したものである。
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 4 平成17年から平成27年のデータは年平均、平成28年1月以降は月次データを用いている。

(4) 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成28年8月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より▲1.1%、前年同月より+3.6%の2,333円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より▲0.6%、前年同月より+2.5%の1,980円。

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月比)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月比)	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年	2,285	▲5.9%	1,973	▲9.2%	-
平成28年1月	2,318	0.3%	1,990	▲2.2%	-
2月	2,309	▲0.2%	1,980	▲0.1%	-
3月	2,343	2.8%	2,008	2.0%	-
4月	2,329	2.6%	2,005	1.7%	-
5月	2,357	4.1%	1,994	▲0.4%	-
6月	2,357	5.3%	1,985	0.8%	-
7月	2,360	4.3%	1,991	2.3%	-
8月	2,333	3.6%	1,980	2.5%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

3：精米ベースである。

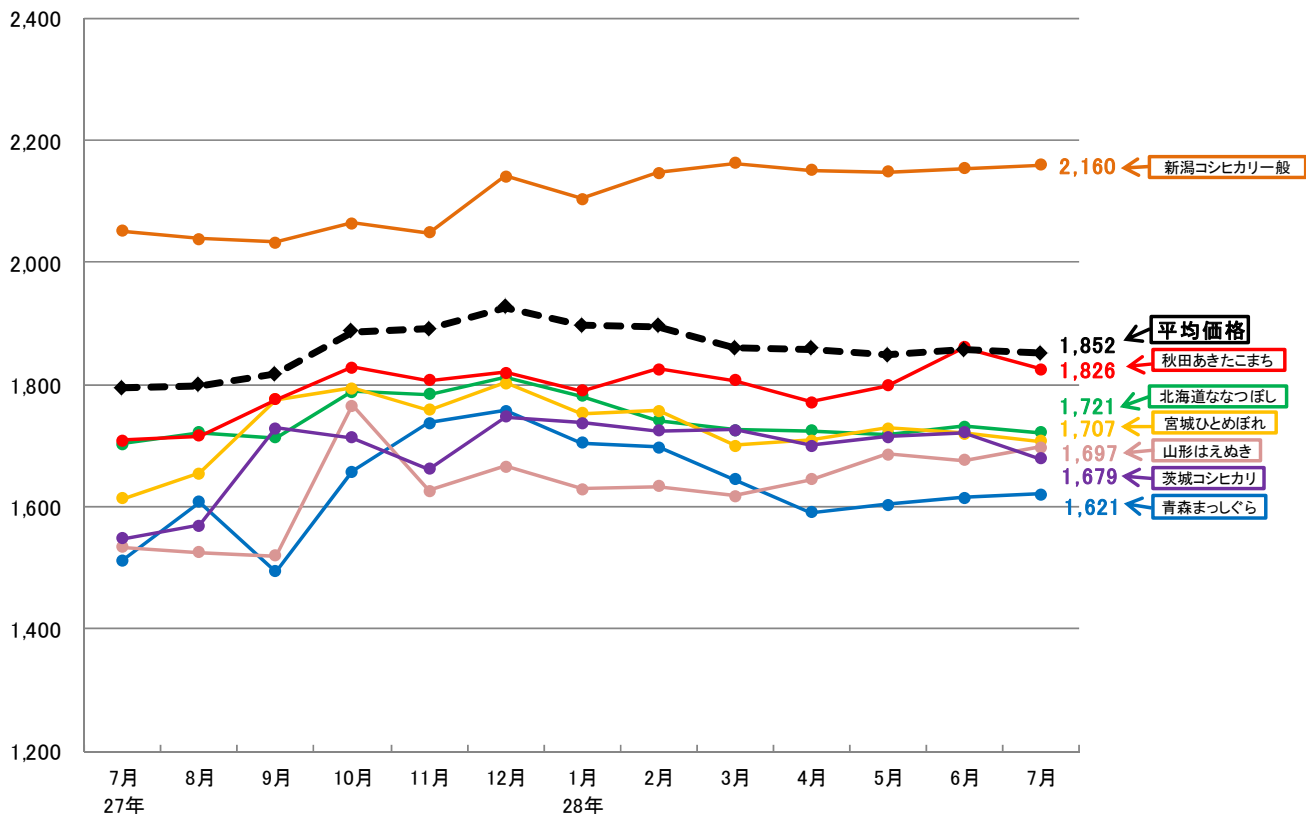
4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

(5) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成28年7月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より▲5円、前年同月より+57円(+3.2%)の1,852円。

(図)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(税込み)



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
27年7月	1,703	1,513	1,614	1,709	1,533	1,547	2,052	1,795
8月	1,722	1,608	1,655	1,716	1,526	1,570	2,038	1,798
9月	1,713	1,493	1,775	1,776	1,519	1,729	2,034	1,818
10月	1,789	1,658	1,794	1,829	1,765	1,713	2,064	1,887
11月	1,784	1,738	1,759	1,808	1,626	1,662	2,050	1,891
12月	1,811	1,758	1,803	1,820	1,667	1,747	2,142	1,926
28年1月	1,782	1,705	1,754	1,791	1,629	1,737	2,104	1,897
2月	1,742	1,698	1,757	1,826	1,633	1,725	2,148	1,895
3月	1,726	1,645	1,700	1,807	1,618	1,726	2,163	1,859
4月	1,724	1,591	1,709	1,771	1,644	1,700	2,152	1,859
5月	1,718	1,603	1,728	1,798	1,686	1,714	2,148	1,849
6月	1,732	1,615	1,720	1,861	1,676	1,721	2,154	1,857
7月	1,721	1,621	1,707	1,826	1,697	1,679	2,160	1,852
対前月比	▲0.6%	0.4%	▲0.8%	▲1.9%	1.3%	▲2.4%	0.3%	▲0.3%
対前年同月比	1.1%	7.1%	5.8%	6.8%	10.7%	8.5%	5.3%	3.2%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,010店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。

Ⅸ MA米（一般・SBS）の動向

(1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	-	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	-	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	-	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度	36	34	6	0	1	77	73	3
平成28年度 (8月末現在)	3	4	-	-	-	6	6	-

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 万実トンと万玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成27年4～6月分	13,301	平成27年4～7月分	2,882
4月分	522	平成27年8～11月分	2,968
5月分	368	平成27年12～平成28年3月分	2,929
6月分	979		
7～9月分	17,214		
7月分	488		
8月分	571		
9月分	943		
10～12月分	17,250		
10月分	498		
11月分	273		
12月分	703		
平成28年1～3月分	16,818		
1月分	463		
2月分	697		
3月分	699		
小計	71,787	小計	8,779
合計	80,566		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

(3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成27年9月16日)	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
第2回 (平成27年10月21日)	一般米	36	434	36	0	0	0	108	0	614
	砕精米	300	100	100	144	200	0	0	0	844
第3回 (平成27年11月18日)	一般米	236	736	1,216	0	40	0	350	0	2,578
	砕精米	408	200	500	0	0	0	150	0	1,258
第4回 (平成27年12月9日)	一般米	846	670	858	72	0	0	471	0	2,917
	砕精米	608	100	660	500	200	0	0	0	2,068
第5回 (平成28年1月13日)	一般米	860	528	224	0	0	0	372	0	1,984
	砕精米	1,300	200	560	0	260	0	0	0	2,320
第6回 (平成28年1月29日)	一般米	0	430	220	0	36	0	585	0	1,271
	砕精米	800	120	400	162	0	0	0	0	1,482
第7回 (平成28年2月16日)	一般米	1,297	460	208	0	0	0	288	0	2,253
	砕精米	2,000	100	0	0	0	0	0	0	2,100
第8回 (平成28年3月2日)	一般米	976	200	0	0	0	0	70	0	1,246
	砕精米	5,304	340	0	108	0	0	0	0	5,752
合計	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452
平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～27年度

X その他

(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 平成27年産水稻うるち玄米の平成28年3月31日現在の検査数量は、前年産の同月と比べ▲7%の452万トン。
- 1等米比率については、前年産より1ポイント高い82%。

① 検査数量の推移(累計)

単位:千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
23	11	167	1,488	3,490	3,928	4,082	4,186	4,302	4,413	4,753
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
参考:前年比	52%	86%	96%	99%	101%	101%	101%	101%	102%	101%
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	
参考:前年比	93%	96%	86%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	

注:1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

② 検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27(注2)	4,517,769	3,724,899	654,410	76,811	61,650	82.4	14.5	1.7	1.4

資料: 農林水産省とりまとめ

注:1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 27年産米については、平成28年3月31日現在(速報値)。

(2) 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	作付面積 (子実用) ①	10a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	参 考	
			10a 当たり 収 量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④		主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主食用) ⑧=⑦×②
全 国	1,505,000	531	515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000
北 海 道	107,800	559	543	522	104	602,600	100,100	559,600
青 森	43,500	616	597	566	105	268,000	37,300	229,800
岩 手	51,400	560	545	518	105	287,800	48,100	269,400
宮 城	66,700	547	531	516	103	364,800	63,700	348,400
秋 田	88,700	589	572	553	103	522,400	71,200	419,400
山 形	65,300	614	594	578	103	400,900	57,700	354,300
福 島	65,600	557	531	526	101	365,400	61,500	342,600
茨 城	70,300	505	496	515	96	355,000	68,400	345,400
栃 木	58,300	531	518	528	98	309,600	54,100	287,300
群 馬	15,800	489	468	479	98	77,300	14,400	70,400
埼 玉	32,200	480	461	476	97	154,600	31,700	152,200
千 葉	57,000	539	529	525	101	307,200	55,200	297,500
東 京	156	405	392	402	98	632	156	632
神 奈 川	3,130	485	457	478	96	15,200	3,130	15,200
新 潟	117,500	527	509	523	97	619,200	102,400	539,600
富 山	38,600	559	542	524	103	215,800	34,200	191,200
石 川	26,100	522	509	504	101	136,200	23,600	123,200
福 井	25,600	518	495	500	99	132,600	23,900	123,800
山 梨	5,030	539	522	533	98	27,100	4,980	26,800
長 野	33,200	604	590	609	97	200,500	32,200	194,500
岐 阜	22,500	481	471	478	99	108,200	22,100	106,300
静 岡	16,300	503	493	513	96	82,000	16,100	81,000
愛 知	28,100	503	495	499	99	141,300	27,200	136,800
三 重	28,300	490	479	488	98	138,700	27,700	135,700
滋 賀	32,200	518	504	506	100	166,800	30,600	158,500
京 都	15,000	510	500	501	100	76,500	14,400	73,400
大 阪	5,440	495	477	479	100	26,900	5,440	26,900
兵 庫	37,300	501	488	491	99	186,900	35,700	178,900
奈 良	8,870	515	501	499	100	45,700	8,850	45,600
和 歌 山	6,900	499	488	484	101	34,400	6,900	34,400
鳥 取	12,900	512	501	504	99	66,000	12,400	63,500
島 根	17,900	503	492	500	98	90,000	17,500	88,000
岡 山	31,000	505	493	515	96	156,600	29,600	149,500
広 島	24,700	507	495	513	96	125,200	24,000	121,700
山 口	21,600	491	478	493	97	106,100	20,500	100,700
徳 島	11,900	457	453	469	97	54,400	11,700	53,500
早期栽培	4,580	450	447	459	97	20,600
普通栽培	7,340	461	456	475	96	33,800
香 川	13,600	470	465	493	94	63,900	13,500	63,500
愛 媛	14,600	488	482	493	98	71,200	14,600	71,200
高 知	12,000	444	440	456	96	53,300	11,900	52,800
早期栽培	6,750	462	459	478	96	31,200
普通栽培	5,290	420	415	426	97	22,200
福 岡	36,500	480	459	481	95	175,200	35,900	172,300
佐 賀	25,300	513	496	502	99	129,800	25,000	128,300
長 崎	12,500	479	460	462	100	59,900	12,500	59,900
熊 本	35,600	500	484	499	97	178,000	34,300	171,500
大 分	21,900	478	457	481	95	104,700	21,700	103,700
宮 崎	17,300	464	448	484	93	80,300	16,100	74,700
早期栽培	7,090	411	399	471	85	29,100
普通栽培	10,200	501	482	493	98	51,100
鹿 児 島	21,600	458	445	470	95	98,900	20,900	95,700
早期栽培	4,910	396	383	435	88	19,400
普通栽培	16,700	476	463	481	96	79,500
沖 縄	788	288	286	305	94	2,270	788	2,270
第一期稲	556	342	341	369	92	1,900
第二期稲	232	160	153	172	89	371

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
3 全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a 当たり収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

(別冊)「資料編」の目次

I	在庫情報	
	27・27年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成27年7月末から28年6月末) (速報)	1
II	米の価格情報	
	業者間取引の状況	1 1
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株) 加工用米取引センターの取引結果	
	④ (株) 日本農産情報の取引結果	
	⑤ 米の現物市場の状況	
III	主食用米以外 (輸出を含む)	
	(1) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	1 4
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成27年産、都道府県別)	
	(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	1 6
	(3) 政府備蓄米の運営	1 7
	備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23~28年産)	
	(4) 商業用の米の輸出货量及び金額の推移	1 8
	(5) 主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	1 9
	(6) 米菓の輸出货量及び金額の推移	2 0
	(7) 日本酒 (清酒) の輸出货量及び金額の推移	2 1
IV	消費動向	
	(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	2 2
	(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	2 5
V	その他	
	(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成28年8月分)	2 6
	(2) 平成27年産水陸稲の収穫量	3 1
	(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	3 5
	(4) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移	3 6
	(5) 麦・大豆の需要情報	3 7
	① 28年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
	(6) 野菜等の需給情報	4 3
	(7) 米の安定取引研究会報告書の概要	4 5

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからもご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

【農林水産省】

問い合わせ先	連絡先
政策統括官付農産企画課 ・企画班（林） ・米穀需給班（佐々木・石田・萱場）	03-6738-8973

【地方農政局等】

問い合わせ先	連絡先
北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北農政局 生産部 生産振興課	022-221-6169
関東農政局 生産部 生産振興課	048-740-0100
北陸農政局 生産部 生産振興課	076-232-4302
東海農政局 生産部 生産振興課	052-223-4623
近畿農政局 生産部 生産振興課	075-414-9020
中国四国農政局 生産部 生産振興課	086-224-9411
九州農政局 生産部 生産振興課	096-300-6224
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】

農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。

当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。

メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

【メールマガジン配信登録】

農林水産省ホーム > 報道広報 > メールマガジン

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>